

三重大学 総合情報処理センター 広報

Annual Report
Center for Information Technologies and Networks

<http://www.cc.mie-u.ac.jp/cc/press/ar2014.pdf>

Vol. 12 平成 26 年 8 月

目次

巻頭言

総合情報処理センター長	井須尚紀	3
-------------	------	---

レポート

2013年度のインターネット回線使用状況について		
総合情報処理センター	杉浦徳宏	5
勢水丸（及び水産実験所）ネットワーク拡充整備について		
総合情報処理センター	杉浦徳宏 伊藤舞 松原伸樹	7
演習林ネットワーク拡充整備について		
総合情報処理センター	杉浦徳宏 伊藤篤	10
2013年度の三重大学におけるセキュリティ情勢について		
総合情報処理センター	堀川慎一	13
学認に関する取り組み		
総合情報処理センター	三橋一郎	18
平成25年度の活動一覧		21

センター利用状況	32
----------	----

センター組織・規則

総合情報処理センター運営委員会委員	51
情報ネットワーク専門委員会委員	52
三重大学総合情報処理センター規程	53
三重大学総合情報処理センター運営委員会規程	55
三重大学情報ネットワーク専門委員会規程	57
三重大学総合情報処理センター利用規程	59
三重大学総合情報処理センター利用細則	61
三重大学総合情報処理センター情報処理教育システム利用細則	63

巻頭言

総合情報処理センター長 井須 尚紀

この1年を振り返りますと、国内でも個人情報の漏洩や情報セキュリティの不備や脆弱性を突く行為が繰り返して世間を騒がせています。その度に、全国の大学でも個別案件への対処と情報セキュリティの強化が求められてきました。本学のキャンパスネットワークにおいては加害を及ぼすような事案はなく実質的な被害を受けることもありませんでしたが、対処を怠ることなくセキュリティに万全を期すよう日々努めるとともに、教職員の皆様に注意と対応措置をお願いしてきました。情報セキュリティポリシーおよび教育研究／事務／附属病院の各情報セキュリティスタンダードの策定・改定を終え、今春より揃って施行されています。総合情報処理センターホームページで公開していますので、ご確認頂いて規則の遵守をお願いします。また、「キャンパスネットワーク利用ガイドライン」を発行し、教職員・学生の皆様に配布しました。キャンパスネットワークのご利用に際して、参考にして頂ければと願っております。

今年4月初旬にMicrosoft Windows XPのサポートが終了し、セキュリティ上の観点から、同OSがインストールされたコンピュータを本学のキャンパスネットワークに接続することが禁止されました。皆様には昨年7月より、所謂「XP問題」（あるいは「2014年問題」）への対応をお願いして参りましたが、特殊事情のためにOSを更新できない機器がやむを得ず残っています。XP問題が解決した訳ではなく、問題が起こって来るのはこの先です。今後、不測の事態が生じることのないよう皆様のご協力をお願い致します。なお、XP問題と同様の問題が来年7月にも発生します。Microsoft Windows Server 2003のサポートが終了を迎えます。同OSを使用しているサーバが本学のキャンパスネットワーク内にも多数あり、これがサーバOSであるだけに、より深刻な問題となるかも知れません。

さて、2011年3月の東日本大震災以降、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）の重要性が強調されるようになりました。緊急事態が発生しても事業を継続できるように、システムの保全やデータの保護など災害対策の整備が求められています。本学総合情報処理センターでは、昨年度竣工した地域イノベーション研究開発拠点の最上階に新サーバ室を設置し、屋上に自家発電機を備えました。内陸部（標高50m）に位置する附属農場内にもサーバ室を置き、本部事務系データをバックアップしています。セキュリティ上の観点から、総合情報処理センターの全サーバ室には生体認証入退館管理システムを導入しました。また、各種サーバの仮想化を進め、仮想基盤システム上へ順次移行しています。将来的に

は、大規模災害を想定して、遠隔地へのデータバックアップやアカデミッククラウドの利用を検討していきたいと考えています。

キャンパスネットワークの持続的な維持整備を考えますと、時代遅れなものになってしまっただけでは「使えるネットワーク」であり続けることが出来ません。情報関連の技術革新は目覚ましく、既存システムの保守だけでは、あっという間に時代に取り残されてしまいます。技術の進歩を先取りするようにシステムの更新・拡張を図り続けていくことが、キャンパスネットワークの維持に必須です。昨年度は、附属練習船勢水丸や演習林のネットワークを整備拡充したり、キャンパス内にアクセスポイントを増設などの整備事業を実施しました。しかし、今年度は予算配分の削減や消費税の大幅な増税のため、財政的に非常に厳しい状況です。皆様のご理解、ご支援をお願い致します。

今年度より、学生や教職員を対象に「総合情報処理センターIT 講習会」を始めました。前期は「IT パスポート試験シリーズ」3回と「入門ソフトウェアシリーズ」4回の開催です。後期にも、サーバ管理者や一般利用者、研究者向けの講習会を実施する予定です。サイトライセンスソフトウェアや各種システムのサービス提供等と合わせて、本学の教育研究の支援に努めていきたいと願っております。

2013 年度のインターネット回線使用状況について

総合情報処理センター 杉浦 徳宏

2013 年度 (2013/6～2014/5) の各月のインターネット回線使用量を図 1, 2 に示します。図 1 が下り方向 (キャンパスネットワークに入ってくる方向)、図 2 が上り方向です。グラフの縦軸は、1 日あたりの平均通信量です。比較のため、2012 年度 (2012/6～2013/5) 分も同時に掲載しています。また、表 1 に各種統計量の前年比を示します。本年度 (2013 年度) は、下りトラフィックは 1.29 倍に増加しました。前年度 (2012 年度) は 1.17 倍と鈍化傾向が見られましたが、本年度は 1.29 倍と大きめの増加となりました。上りトラフィックは、月ごとの変動が大きいです。年間平均では 1.10 倍でした。上下トラフィックの比率は、1:5.2 でした。

5 分刻みでの通信量のピークは、平日の場合で 300[Mbps]弱です。インターネット回線帯域は、公称 1.5[Gbps] (実質 1[Gbps]) ほどありますので、ピーク時においても十分に余裕があります。

表 1 各種統計量の前年比

	2011:2012	2012:2013
伸び率 (下り)	1.17	1.29
伸び率 (上り)	1.38	1.10
上下比率 (上りを 1 として)	4.4	5.2

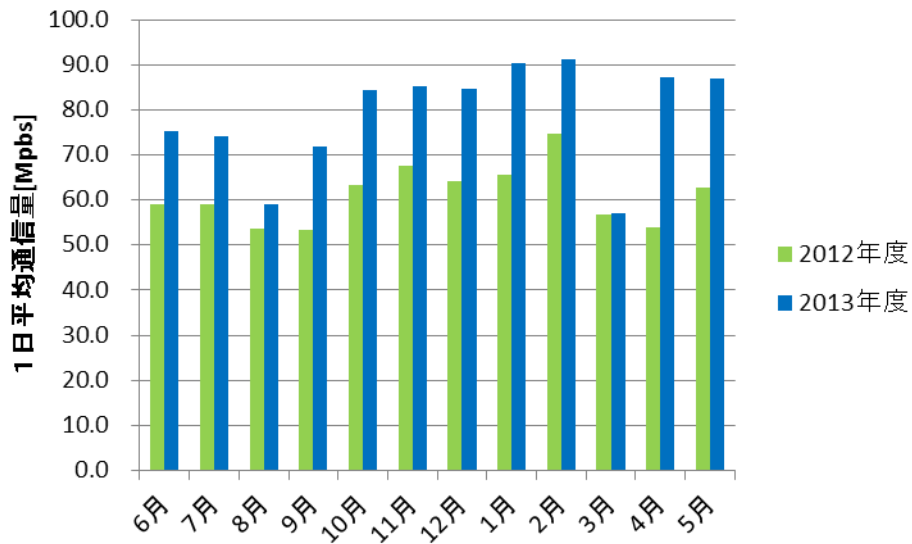


図1 インターネット回線使用量（下り）

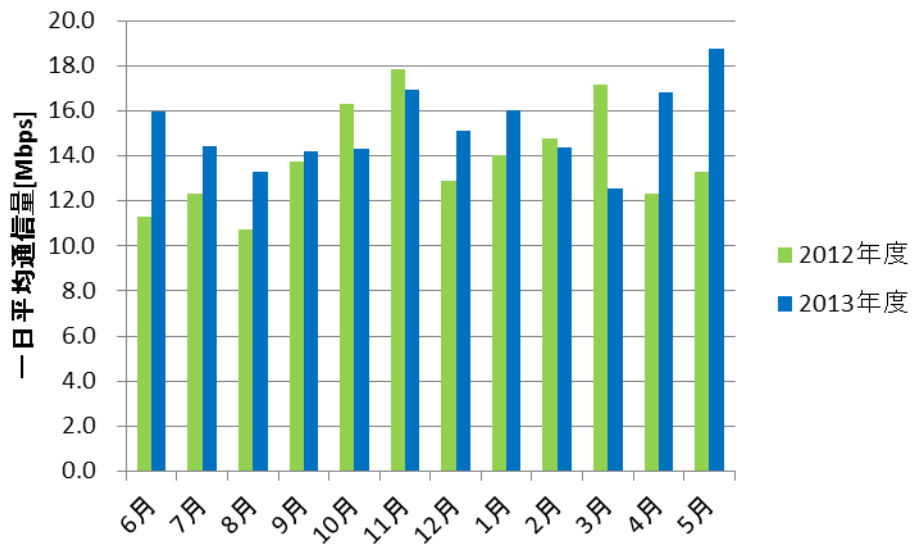


図2 インターネット回線使用量（上り）

勢水丸（及び水産実験所）ネットワーク拡充整備について

総合情報処理センター 杉浦 徳宏, 伊藤 舞, 松原 伸樹

1. 経緯

本学は、上浜キャンパス以外にいくつか遠隔拠点を有しておりますが、専用線やVPNなどを使ってキャンパスネットワークを提供しています。本稿では、そうした遠隔拠点のうち、練習船勢水丸と水産実験所について、キャンパス間接続回線の拡充整備を行いましたので、その報告を行います。

従来、この2拠点と上流である上浜キャンパス（総情センター）を含む3拠点について、NTTのフレッツ・グループというVPN接続サービスにて相互接続し、キャンパスネットワーク（研究用LANのみ）を提供していました。上浜キャンパスについては、Bフレッツ（ベーシック）がアクセスラインです。勢水丸については、松阪港停泊時のみ、船内まで電話線（メタル線）が接続されるため、それを用いたADSL回線をアクセス回線として利用していました。水産実験所は、座賀島という定住民のいない島内にありますが、こちらも電話線（メタル線）が引き込まれているため、ADSL回線をアクセス回線として利用していました。

しかし、勢水丸のADSL回線は基地局からの路線長も長く、また年々回線品質が悪化しておりました。ついにはリンクダウンが頻発するようになり、2013年4月をもって一旦回線を廃止していました。勢水丸には、航行時用に携帯電話(3G)をアクセス回線としたインターネット接続がありますので、停泊時にもそちらを利用していただいております。しかし、近年の通信量の増大により、停泊時の高速回線を復活整備してほしいという要望が寄せられましたので、今回拡充整備することといたしました。



図1. 松阪港に停泊する勢水丸。赤い点線部分が無線LAN区間です。

2. 整備内容

勢水丸のアクセス回線については、松阪港内の柱上ボックスまで光ファイバを引き込み、そこから勢水丸キャビンまで無線 LAN (802.11n) による接続としました。また、これまで上浜キャンパスのアクセス回線として利用しておりました B フレッツ (ベーシック) 回線及び、VPN 接続サービスであるフレッツ・グループは、どちらもサービス終了が予定されているため、それぞれ後継サービスへと移行することといたしました。各回線の詳細は表 1 をご覧ください。

表 1 アクセス回線一覧

	旧アクセス回線		新アクセス回線	
	回線種別	費用 (月額)	回線種別	費用 (月額)
総情センター	B フレッツ ベーシックタイプ (100Mbps)	9,975 円	フレッツ光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ (200Mbps)	5,670 円
勢水丸	(フレッツ・ADSL モア。廃止中)	—	フレッツ光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ (200Mbps) (松阪港電柱) +無線 LAN(802.11n, 300Mbps) (電柱～勢水丸)	5,670 円
水産実験所	フレッツ・ADSL モアスペシャル (3Mbps 程度)	4,360 円	←	4,360 円
合計		14,335 円		15,700 円

※VPN 接続サービス「フレッツ・グループ」⇒「フレッツ・VPN ワイド プラン 10」

※費用は VPN 接続サービス料金を含んだものです。消費税は 5% 計算です。

3. 拡充整備後

本整備後の勢水丸～上浜キャンパス間の速度は、当初 100Mbps 以上を想定しております

たが、実際には約 10[Mbps] (RTT は 10[ms]) と想定よりもかなり遅い結果となりました。アクセス回線、無線 LAN 区間ともに十分に高速であるため、VPN 接続サービス側で律速しているものと推測されます。

水産実験所については、アクセス回線の変更はないものの、VPN 接続サービスの変更に伴い、水産実験所～上浜キャンパス間のスループットは約 3.41[Mbps]とあまり変化がないものの、RTT は 42→27[ms]と減少し、多少高速化されました。

本工事の総工費は、約 130 万円でした。

※RTT は、Round Trip Time の略で往復の通信時間のことです。RTT は実効速度に大きな影響を及ぼすため、回線速度に応じて小さくすることが必要とされます。

演習林ネットワーク拡充整備について

総合情報処理センター 杉浦 徳宏, 伊藤 篤

1. 経緯

本学は、上浜キャンパス以外にいくつか遠隔拠点を有しておりますが、専用線やVPNなどを使ってキャンパスネットワークを提供しています。本稿では、そうした遠隔拠点のうち、演習林についてキャンパス間接続回線の拡充整備を行いましたので、その報告を行います。

従来、上浜キャンパス（総情センター）と演習林間は、NTTのメガデータネッツという専用線接続サービスにて接続し、キャンパスネットワーク（研究用LANのみ）を提供していました。回線速度は、最大値と保証値が設定されている特殊なサービスで、最大1Mbps（0.5Mbps保証）ですが、月額費用は92,400円と大変高額になっています※1。これは、演習林は住所としては確かに「市内」ですが、美杉地区の山深い位置にあり、一般家庭用のインターネット接続サービスのサービスエリア外であることは言うまでもなく※2、携帯電話の電波も入らないという通信における孤島状態になっていることが原因です。電話回線（メタル）線は引き込まれていますが、途中の経路が特殊な回線となっているため、原理的にADSLは利用できないと言われていました。現メガデータネッツ回線は光ファイバを使っていますが、導入時には、NTTに無理をお願いして引いていただいております、高額な維持費については仕方がないという状況です。

演習林は、生物資源学部の附帯施設という位置づけで、現地常勤教職員が主たる利用者ですが、生物資源学部の学生が実習で数日滞在することもあります。また、最近では他学部の教員・学生の短期滞在利用もあるとのこと。今後もさらに利用を拡大する計画になっているとのことで、そういった背景もあり、上浜キャンパスと同様にモバイルLANを提供してほしいというご要望をいただきました。また、回線速度につきましても、1Mbpsでは不十分であることは間違いありませんので、大幅な費用増を抑えつつ見直すことといたしました。

※1：一般用インターネット回線が劇的に安くなった…のが真実です。

※2：近くに民間がない場合、絶望的です。

2. 整備内容

モバイル LAN を提供するためには、キャンパス間接続回線を VLAN 対応に変更する必要があります。これまで、研究用 LAN のみを提供していたため、VLAN 対応はしていませんでした。幸いなことに、回線終端装置のみの変更で VLAN 対応できることがわかりましたので、機器交換を行いました。モバイル LAN 用アクセスポイントは、管理棟内 3 か所 (2F 講義室、2F 宿泊エリア廊下、1F 食堂) に設置しましたので、一般の利用者の方が利用されるエリアはすべてカバーできたものと思います。また、建屋内にネットワーク配線のない部屋があるとのことで、情報コンセントを二ヶ所増設いたしました。

回線速度についてですが、従来契約していた 1Mbps(0.5Mbps 保証)プランと比べわずかな増額で 4Mbps(0.4Mbps 保証)プランを契約できることがわかりました。保証値が若干小さくなってしまいますが、現回線でもほぼトップスピードで常時通信できることがわかっていましたので、おそらく高速化されるであろうと判断しました。

3. 拡充整備後

本整備後の演習林～上浜キャンパス間の実効速度ですが、整備前約 0.7[Mbps]に対し、整備後約 3.1[Mbps]となり、想定通り高速化されました※3。また、RTT※4も 6[ms]→3[ms]と減少し高速化されました。

尚、本工事の総工費は、約 48 万円でした。

※3：回線速度は上下合計値であることと、メガデータネットは ATM 技術に基づいているため ATM→IP の変換オーバーヘッドにより最低 10%は小さくなります。

※4：RTT は、Round Trip Time の略で往復の通信時間のことです。RTT は実効速度に大きな影響を及ぼすため、回線速度に応じて小さくすることが必要とされます。



図1 深い森の中に突如として現れる鉄筋コンクリート造りの演習林管理棟



図2 昨年度の台風により崩落した山の法面（演習林内）。本整備のための現地確認に向いたところ、ちょうど復旧工事のための地鎮祭が行われていました。通信や電力ケーブルが寸断されることもあり、常に災害への備えが必要です。

2013年度の三重大学におけるセキュリティ情勢について

総合情報処理センター 堀川慎一

はじめに

当センターでは、基本的なセキュリティ対策として、2004年より全学に向けてウィルス対策ソフトの無償提供を行ってきました。また、2006年には侵入検知防御システム（IPS）の運用を開始し、公開サーバへの不正アクセスの防御を図っています。以下では、これらエンドポイントとゲートウェイの統計量に基づき、2013年度の三重大学におけるセキュリティ情勢の概要をご紹介します。

エンドポイントのセキュリティ情勢

当センターでは2009年より、それまでのSymantec社製品に替えてESET社製品を主たるウィルス対策ソフトとして全学に提供しています。2013年度においては、Symantec社との契約を完全に打ち切り、ESET社に一本化したことが大きなトピックとして挙げられます。Symantec社の法人向け製品（Symantec Endpoint Protection）は、各種マルウェア対策だけでなくクライアントの管理機能も極めて充実しているのですが、大学という環境ではオーバースペック気味な上に動作が重い原因ともなっていました。本学ではバージョン11.0までの利用に留まりましたが、この点がエンドユーザに大きく不評を買っていたことは紛れもない事実です。また、クライアントに加えて管理サーバの負荷も過大であった点が、乗り換えを検討する契機となりました。

現在提供中のウィルス対策ソフトでは、マルウェアを検出すると管理サーバへ通知するよう初期設定を施しており、学内で利用されているWindows端末の概況を随時確認できるようになっています。

図1は、当該管理サーバにて確認されたマルウェア検出数の月別推移を示します。縦軸は0を起点とする線形軸となっており、比較のため2012年度のデータを加えています（以下同じ）。

2013年度は、始まって直ぐの4月に突出した値を記録していますが、これは学内に悪質なアドウェアが蔓延したことによるものです。その多くには、何らかのフリーウェアとともに抱き合わせでインストールされるとパソコンに何らかの異常があるように見せかけ、正規品を購入させようとする仕組みが備わっていました。中でも悪質だったのが

「Advanced System Protector」で、故意にマルウェアを生成して感染を装うものであったため、当センター提供のウイルス対策ソフトによる検出数の増加に大きく寄与することとなってしまいました。ここまで来ますと完全に悪意が感じられますので、マルウェアとして駆除されても当然のように思われますが、単に不安を煽って正規品の購入を促すだけでは一般にグレーゾーンと判断されるらしく、駆除対象となるまで相応の時間を要しました。

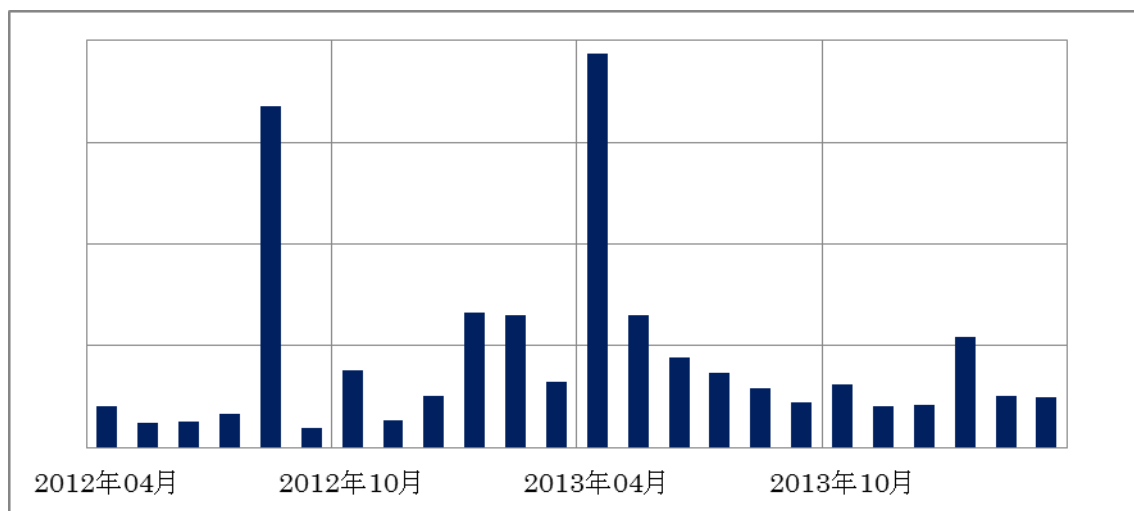


図1 マルウェア検出数の推移

その後の検出数は概ね右肩下がりとなっていますが、同様なアドウェアは現在もインターネットの至る処に存在していますので、特にフリーウェアをダウンロード・インストールの際は、不要なものまでインストールしてしまわないようくれぐれもご注意ください。

ゲートウェイのセキュリティ情勢

当センターが運用する IPS では、公開サーバを個別に狙い撃ちするようなサイバー攻撃と合わせて、ポートスキャン（アドレススイープ）により標的を探し出そうとする不正アクセスを妨害する仕組みを取り入れています。

図2は、後者の探索型不正アクセス遮断件数の月別推移を示します。対象プロトコル（ポート番号）は現有機器の処理能力と防御効果を勘案し、FTP（21/tcp）、SSH（22/tcp）、TELNET（23/tcp）、HTTP（80/tcp）、HTTPS（443/tcp）、RDP（3389/tcp）の六つに絞っています。

2013年度は、年末までは依然としてRDPが大半を占める状況で特に大きな変動はなく推移していましたが、2014年に入るや否やTELNETの件数が激増しています。この原因としましては推測でしかありませんが、同時期より問題視されるようになったインターネ

ットに直接接続された複合機やNAS等を悪用しようとする一連の動きと関係があるのかもしれない。

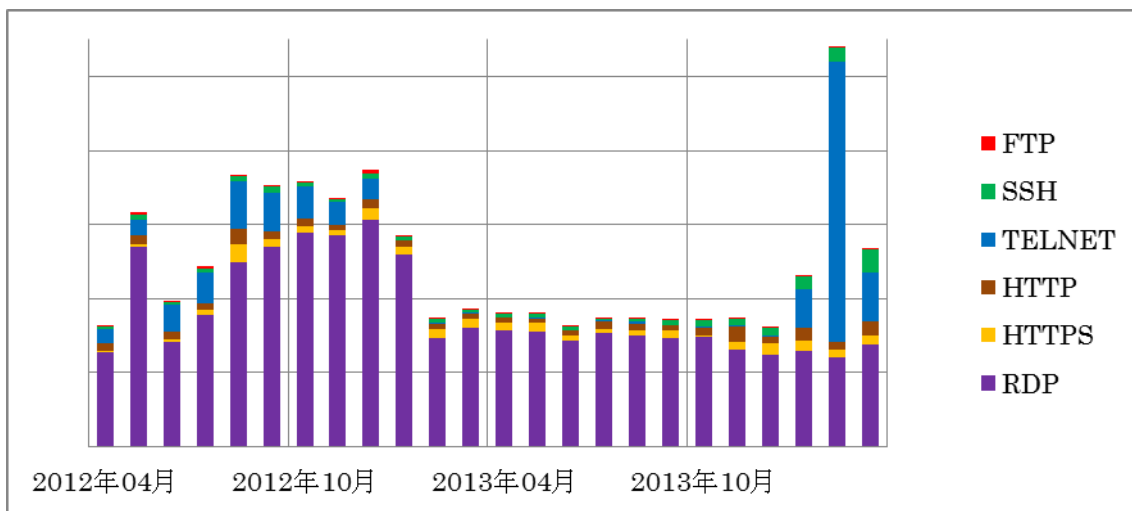


図2 探索型不正アクセス遮断件数の推移

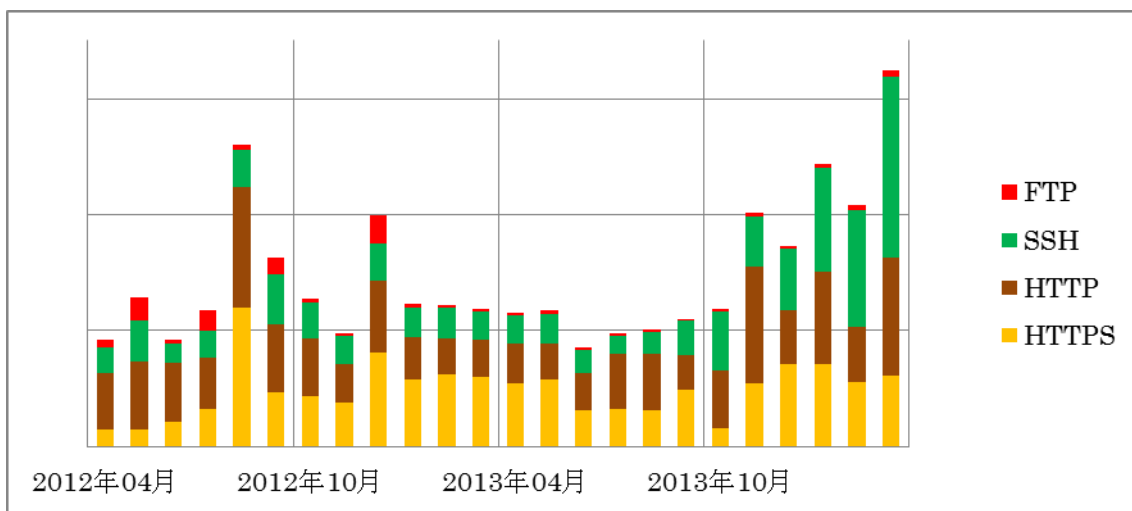


図3 TELNET と RDP を除く探索型不正アクセス遮断件数の推移

図3は、図2からTELNETとRDPを除いた探索型不正アクセス遮断件数の推移を示します。件数自体は桁違いながら、こちらでも全体的に増加傾向にあることが明らかです。インターネットからアクセス可能な形で安易にネットワーク機器を設置することの危険性が現れているように感じられます。

図4は、当センターが運用するIPSによって遮断された公開サーバへの個別攻撃件数の月別推移を示します。

同図では、特に 2014 年 1 月以降にいわゆる「DNS リフレクター攻撃」が激増した結果、その他の分類が全く意味をなさないような状態となっけてしまっています。それほど DNS サーバを悪用しようとする攻撃が激しく行われていた訳ですが、この攻撃で使用される UDP パケットの性質上、完全には遮断できない点が非常に悩ましいところです。

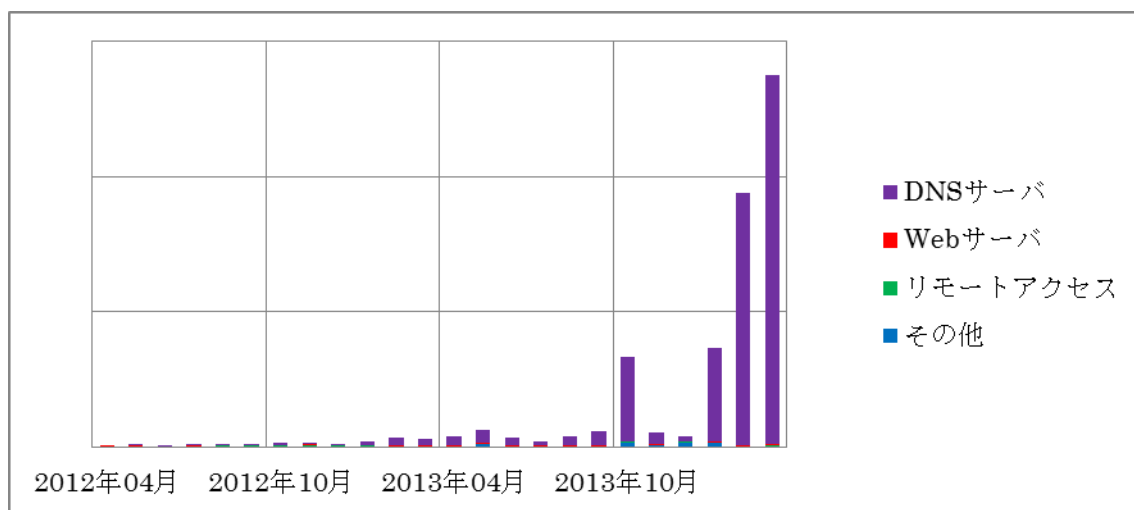


図 4 公開サーバに対する個別攻撃遮断件数の推移

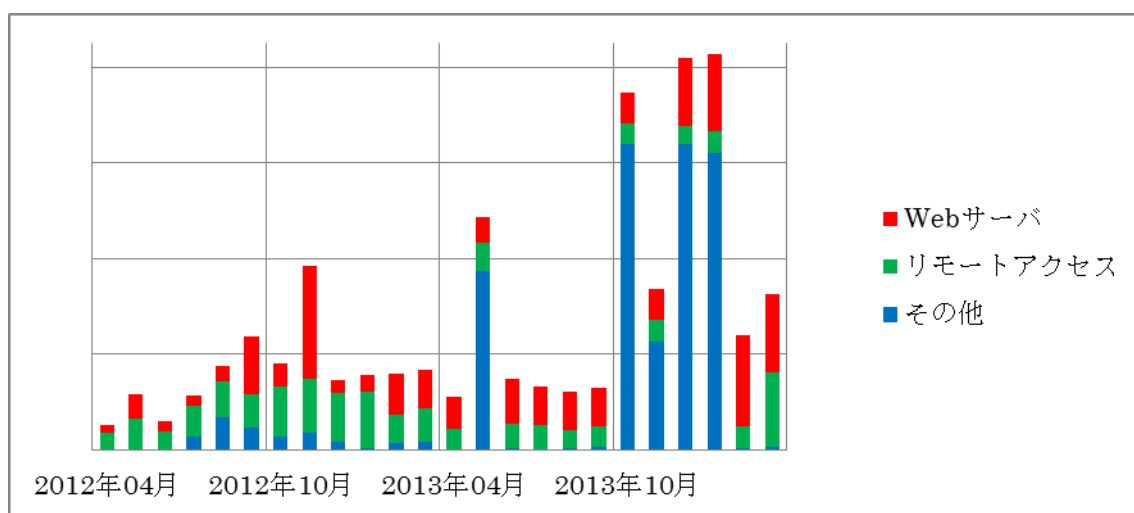


図 5 DNS サーバを除く公開サーバに対する個別攻撃遮断件数の推移

図 5 は、図 4 から DNS サーバを除いた公開サーバへの個別攻撃遮断件数の推移を示します。2013 年度は、一部に「その他」の割合が半数以上を占める月が存在していますが、これらはインターネット上の ZeroAccess ボットネットから一方的に UDP パケットを投げつけられたことによるものです。本学の公開サーバが当該ボットネットに荷担したような形

跡は何もなく、一時的に探索活動の標的にされたようです。これを除いた攻撃件数にも図 3 と同様に増加傾向が見られますので、インターネットにおける治安情勢が益々悪化しつつあることを表しているように思います。

おわりに

以上、簡単ではありますが、2013 年度の本学におけるセキュリティ情勢をご紹介させていただきました。上述した内容はあくまでも当センターが把握できる範囲内に限られたものですが、特に 2014 年に入ってからゲートウェイにおける遮断件数に明らかな増加傾向が認められており、サイバー攻撃の対象が拡大の一途を辿っているように感じられます。最近では家庭用のブロードバンドルータ等も標的となっておりますので、今一度身の回りのセキュリティ対策に不備がないかご確認いただければ幸いです。

学認に関する取り組み

ネットワーク情報基盤研究部門 三橋一郎

はじめに

国立情報学研究所（NII）は平成 20 年から学認というプロジェクトを実施しており、本学もこのプロジェクトに参加しています。

学認とは

学認とは、学術サービスを利用する研究機関と、サービスを提供する機関から構成された連合体で、フェデレーションが定めたポリシーを信頼しあうことで加盟機関は相互にユーザ認証の連携ができるようになります。例えば、三重大学が契約している電子ジャーナルにアクセスするには、出版社が発行する専用のアカウントで学外からアクセス出来るものもありますが、基本的には三重大学内のネットワークからアクセスする必要があります。しかし、学認に加盟すれば、同じく学認に加盟している出版社の電子ジャーナルを閲覧する場合、総合情報処理センターが発行している「統一アカウント」を用いて学外からアクセスできるようになります。

本学の昨年度の取り組み

学認の仕組みとして、ユーザがあるサービス（SP）にログインしようとアクセスすると、大学側で用意した認証サーバ（IdP）に飛ばされ、そこでアカウント情報を入力すると再び SP に飛び、サービスが利用できるというようになっています。このとき、IdP から SP へは、認証が通ったという情報の他に、ユーザ ID やメールアドレスのようなアカウントに紐付けされている個人情報が送られることがあります。

これまでは、こういった個人情報は裏側で勝手に送信されていたのですが、昨今の個人情報保護意識の高まりとともに、ログイン時に情報を送信してよいかどうかをユーザに確認する機構が求められるようになりました。そこで、uApprove という IdP 用のプラグインがスイスで開発され、それを日本向けに改良した uApprove.jp というプラグインが NII により開発されました。そして本学の IdP にも uApprove.jp のインストールを行いました。これにより、IdP でログインする際の手順が変更になりました。

学認関連サービス ログインページ

学認関連サービスについては[三重大学総合情報処理センターホームページ内の解説ページ](#)をご覧ください。

お知らせ

ログイン後、情報の送信を承認するかどうかの確認ページが表示されるようになりました。詳しくは上記ページを参照下さい。(2013/12/16)

<p>統一アカウントを入力して下さい</p> <p>Username: <input type="text"/></p> <p>Password: <input type="password"/></p> <p><input type="button" value="Login"/></p> <p><input checked="" type="radio"/> 情報送信に関する承認設定をリセットする</p>	<p>ReaD & Researchmap</p> <p>ReaD&Researchmapは研究者の業績情報が研究者自身で簡単に管理できるサイトです。研究ホームページを公開することができ、経歴・研究分野・研究キーワード・論文リスト・講演リストなどを発信することができます</p>
--	---

まず、ログイン画面で統一アカウントのユーザ ID とパスワードを入力し、Login ボタンを押します。



 **GakuNin**

[About GakuNin](#)

'ReaD & Researchmap' を利用するためには、あなたについての情報をシステムに送信する必要があります。あなたはサービスにアクセスするために以下の情報を送信することに同意する必要があります。

ユーザ情報	
サービスを利用するための必須情報	
eduPersonPrincipalName	901001 @mie-u.ac.jp

- サービスに送信する情報を毎回確認します。今回は情報を送信することに同意します。
- 次回からこのサービスではこの画面を表示しません。属性情報に変化がない限り、今後このサービスに対して今回と同一の情報を自動的に送信することに同意します。また、サービスからの問合せに対しても、今回と同一の情報を自動的に送信することに同意します。
- この画面をもう表示しません。ユーザ情報を今後すべてのサービスに対して自動的に送信することに同意します。送信する情報は表示以外のものを含む可能性があります。

すると、ログインしたい SP が要求する情報と、その内容が表示されますので、情報を送信することに同意するか否かを回答します。同意した場合のみ SP にログインできるという

こととなります。

今後の展開

uApprove.jp の導入により、学認利用時の個人情報保護体制が整いました。今後、NII 側でも学認の利便性、安全性を向上させるための様々な技術が開発されると思われますので、本学でも引き続き、情報収集や対応に努めていきたいと思いをします。

平成 25 年度 活動一覧

平成 25 年度に行った主な活動を、項目別に掲載します。

■情報セキュリティ関連

- 6 月 Windows XP のサポート終了に向けての対策を開始した。
- 8 月 個人のメールアドレスに対しても迷惑メールフィルタ対応を行い、今後の対応の仕方を決めた。
- 8 月 グループメールサービスの利用について注意喚起を行った。
- 10 月 「アクティブメール」システムを騙った詐欺メールに関する注意喚起を行った。
- 11 月 文部科学省からの「アノニマスによる日本政府等への攻撃予告に係る注意喚起について」に対応した。
- 12 月 文部科学省からの「年末年始の情報セキュリティ対策について」に対応した。
- 12 月 文部科学省からの「日本語文字入力補助ソフトによる情報漏えいの危険性について」、注意喚起するとともに、緊急遮断措置を行った。
- 1 月 ウィルス対策ソフトウェア提供サービスにおいて、新たに Windows 8.1 と Server 2012 R2 に対応した更新版の提供を開始した。
- 1 月 文部科学省からの「動画プレイヤーのアップデート機能を経由したウィルス感染事案」を受け、注意喚起を行った。
- 2 月 総務チームからの要請で、個人情報保護に関する内部監査の監査員を務めた。
- 3 月 附属病院情報セキュリティスタンダードを制定し、情報セキュリティポリシーおよび各スタンダードの修正を行った。

■キャンパスネットワーク関連

- 4月 生協オリジナルパソコン講習会(4、5月の全4回、8日間)でのモバイルLAN利用に対応するために講習会場2か所に無線アクセスポイントを各1台追加整備した。
- 4月 工学部情報工学科の依頼を受けて、情報工学科棟2階電算演習室へアクセスポイントを1台増設するとともに、既設の1台を11n対応機に交換した。
- 5月 工学部電気電子工学科の依頼を受けて、電気電子棟3階会議室へアクセスポイントを1台設置した。
- 5月 練習船勢水丸のキャンパスネットワーク接続について、勢水丸、生物資源学部と検討を行い、ADSL回線、フレッツグループ契約の解約を行った。
- 6月 アクセスポイントの不具合原因調査に着手した。
- 7月 附属農場のエネルギー環境工学講座管理の光ファイバを総情センター管理にし、光ファイバをセンターSWに直収した。
- 7月 衛星ブロードバンドについての検討に着手した。
- 8月 教育学部の依頼を受け、歴史資料庫に建屋SWを設置した。
- 8月 総情センター～環境情報科学館の通信断調査を行い、原因である光ファイバ芯線の接続替えを行った。
- 8月 練習船勢水丸のネットワーク回線について見直しに着手した。
- 8月 演習林へのキャンパスネットワークの見直しと、アクセスポイントの設置の検討に着手した。
- 9月 生物資源学部からの要望により、生物資源学部校舎の301室前廊下にアクセスポイントを設置した。
- 9月 医学部からの要望により、先端医科学教育研究棟1F打ち合わせ室前にアクセスポイントを設置した。
- 9月 研究支援チームの要望により、社会連携センター1階研究支援チーム事務室内にアクセスポイントを1台設置した。
- 9月 生物資源学部の先生からの依頼により、地球環境気候学研究室サーバ室のネットワークを1ギガ化した。
- 9月 SINET L2VPN 対応のため、L2SWを新たにSINET データセンターに設置した。
- 10月 工学部の依頼を受け、27番教室へアクセスポイントを1台設置した。
- 10月 医学部の依頼を受け、医学部学務打ち合わせ室前へアクセスポイントを1台設置した。
- 10月 看護棟2Fのアクセスポイント3台を従来機から11n対応機に交換した。
- 11月 地域イノベーション研究開発拠点サーバ室～総情センターの光ファイバ工事を完了した。
- 12月 演習林の依頼を受けて、同回線の増強(1M→4M、VLAN対応)、アクセスポイント(3か所)の

- 設置、および、情報コンセント(2 か所)の工事を行った。
- 12 月 高大連携遠隔支援システム用新セグメントの収容とともに、今後のネットワーク整備を柔軟に進められるよう教室系ファイアウォールの構成変更を行った。
- 12 月 練習船勢水丸ネットワーク拡充整備のため、現地調査を行った。
- 12 月 水産実験所の VPN 回線切り替えを行い遅延時間(RTT)が 42ms→27ms と高速化された。
- 12 月 フルノシステムズ製無線 LAN システムの評価、検討を行った。
- 1 月 練習船勢水丸及び水産実験所ネットワーク拡充整備の第 1 次工事分を行った。
- 2 月 SINET L2VPN サービスを利用した附属病院電子カルテ広域バックアップシステム用ネットワークを構築した。
- 2 月 生物資源学部校舎屋上階へのキャンパスネットワーク敷設工事を行った。
- 2 月 練習船勢水丸及び水産実験所ネットワーク拡充整備が完成し、勢水丸の松阪港接岸時の高速回線が開通した。

■教育・研究系システム関連

- 4月 昨年度3月に全面更新した総情センター教育用システムの正式運用を開始した。
- 4月 SAS 9.3 の提供を開始した。
- 4月 新入生(2059名)の統一アカウント登録および通知書作成、配布依頼、発送を行った。
- 5月 環境・情報科学館でノート型シンクライアントの貸出運用(試行)を開始した。
- 5月 AutoCAD 2013, SPSS 21.0, Mathematica 9, Matlab R2012b の提供を開始した。
- 6月 学生用メールシステムにて、迷惑メールフォルダに振り分けられないよう、mie-u.ac.jp 関連ドメインのホワイトリスト登録を行った。
- 6月 新入生向け生協パソコンの無線 LAN 接続に関する不具合対応を行った。
- 8月 教室インフォメーションシステムの機能増強を行った。
- 9月 後期の教室ソフトウェア更新を行った。
- 9月 SPSS Statistics 21.0 Fix Pack 1 の提供を開始した。
- 10月 Windows8.1 リリースに伴い、Microsoft Office 2013 KMS 版 のライセンス認証でエラーが発生したため、同ライセンスサーバに対応パッチをあてた。
- 10月 Microsoft 社と次期 Office 総合ライセンス契約についての協議を行った。
- 10月 Office365 連携システムの検討を開始した。
- 11月 JPNIC の PI アドレス・AS 番号における電子証明書による申請者認証に備え、電子証明書の取得、インストールを完了した。
- 11月 ウェブシラバスの仮想サーバへの移行を行った。
- 11月 理工学科の DNS, メール, ホームページをバーチャルドメインサービスへ移行した。
- 12月 Windows 8.1 対応のため教職員用メールシステム(Web メール)のアップグレードを行った。
- 12月 JST の Read&Researchmap を学認経由で利用可能となるよう対応を行った。
- 1月 WILEY ONLINE LIBRARY と Nature Publishing Group を学認経由で利用できるよう対応を行った。
- 2月 Matlab Toolbox 利用者に保守更新の確認とライセンスサーバへの登録更新を行った。
- 2月 国際交流チームの依頼を受けて、教育情報発信システムの納入業者と技術的な打ち合わせを行い、総合研究棟 2、および、人文学部に専用 VLAN サービスを提供した。
- 2月 IT パスポート試験学習教材を導入し、Moodle にインストールした。
- 3月 国際交流チームの依頼を受けて、名古屋大学との連携事業の TV 会議システムについて、総研 2、および、人文学部に TV 会議システム用ネットワークを提供した。

■ 基盤系システム関連

- 5月 統一アカウント用 OpenLDAP サーバ(rdh)を仮想基盤上に移行した。
- 5月 総情センターサーバ室(附属農場分室)の管理・運用及び緊急時の対応について、文書を作成し、申し合わせを取り交わした。
- 6月 ASTEC Eyes のバージョンアップ(6.500 → 7.000)を行った。
- 6月 農場サーバ室(総情センターサーバ室(農場分室))に SW の増設を行った。
- 6月 附属農場サーバ室整備の準備として、上浜キャンパス～附属農場間回線 10G 化のための実証実験を開始した。
- 6月 省エネ化のため、総情センターサーバ室出入りに断熱材を施工した。
- 7月 VPN サーバ(wvpn)を仮想基盤上に移行した。
- 7月 FirePass をアップデートすることにより、セキュア VPN 接続サービスの脆弱性に対応した。
- 7月 総情センターサーバ室(農場分室)について、発電機導入のための検討を開始した。
- 8月 Windows 2012 サーバの導入を行い、ASTEC Eyes を Windows 2012 への移行を行った。
- 9月 夏季集中メンテナンスにて、FC ストレージ 2 台・Active! Mail、L3 コア SW、VMware、portal サーバ、教室系ファイアウォール、教育用 LAN 認証 SW、モバイル LAN 認証サーバのアップデートを行った。
- 9月 総情センターサーバ室(農場分室)の無停止運用のための電源系統改修設計を行った。
- 10月 portal サーバのメモリ不足によるトラブルに伴い、メモリの増強を行った。
- 11月 地域イノベーション研究開発拠点サーバ室に 19 インチラック 3 本と同免振装置の搬入、設置を完了した。
- 11月 農場サーバ室について点検停電時に外部発電機から電源供給出来るよう電源系統の改造工事を行い、無停止運用を開始した。
- 11月 総情センター計画停電時に、基幹系システムは無停止運用とするため、上流電気室切り替え作業を行った。
- 12月 仮想基盤システムのメモリの増強を行った。
- 12月 モバイル LAN の SW の再構成を行った。
- 12月 メールゲートウェイシステムの 2 台を、仮想サーバへ移行した。
- 12月 証明書発行機能が付いている Radius サーバ「Account@Adapter」の試用を行い検証した。
- 1月 学認のための Shibboleth IdP サーバに属性送信ユーザ同意取得システム uApprove.jp を組み込んだ。
- 3月 総情センターサーバ室(現、新、農場)に生体認証型入退室管理システムの導入を行った。
- 3月 春季集中メンテナンスにて、ゲートファイアウォール・教室系ファイアウォール・教育用 LAN

認証SW・モバイルLAN 認証サーバ・教職員用メールシステムのアップデート及びWebサーバ、バーチャルドメインサーバ、教職員用メールシステムサーバのVMware への移行を行った。

■調査・アンケート等

- 6月 センター協議会調査報告、要望調査書について調査、回答を行った。
- 7月 センター協議会地区報告について、調査、回答を行った。
- 10月 第2回 WindowsXP 台数調査を行った。
- 11月 文部科学省からの「情報セキュリティ対策実施状況調査の実施」について、調査、回答を行った。
- 11月 文部科学省からの「複合機等に対する適切なアクセス制限等の実施について」、調査、回答を行った。
- 11月 大学ICT協議会からの「アカデミッククラウド環境構築に係るシステム調査」について、調査、回答を行った。
- 12月 文部科学省からの学術情報基盤調査について、調査、回答を行った。
- 12月 情報処理学会・大学 ICT 協議会からの「一般情報教育の実態調査」の対応を行った。
- 12月 第3回 WindowsXP 台数調査を行った。
- 1月 BaiduIME 利用状況調査を行った。
- 1月 第4回 XP 使用台数調査を行った。
- 2月 BaiduIME 利用状況調査を行った。
- 3月 2013年度 XP 台数調査まとめを作成し情報ネットワーク専門委員会にて報告を行った。
- 3月 BaiduIME 利用状況調査を行った。

■技術支援・相談

- 6月 施設部の依頼を受け、スマートキャンパス実証事業で部局別の電力使用状況をホームページで見せるシステムの構築について、技術相談を行い、ネットワーク接続の準備を行った。
- 6月 就職支援チームによる「産業界ニーズ事業に係るウェブサイト」構築について技術相談を行った。
- 8月 生物資源学部の先生の依頼を受け、FAO サゴヤシネットワークのホームページサービスについて、技術相談を行った。
- 9月 portal サーバから「ウェブシラバス」を仮想サーバへ移行するための打ち合わせを行った。
- 9月 情報図書館チーム河谷さんからの依頼により、工学部蔵書点検作業に対するネットワーク対応の技術相談を行った。
- 10月 演習林の法面修復工事に関して、技術相談を行った。
- 11月 共通教育事務室の依頼を受けて、高大連携遠隔支援システムのネットワーク接続について、技術相談と支援を行った。
- 11月 共通教育事務室の依頼を受けて、ワーキングシステムのネットワーク接続について、技術相談と支援を行った。
- 11月 生協の依頼を受けて、生協ネットワークの再構築について、技術相談を行った。
- 3月 医学部より SINET と JGN を組み合わせたプロジェクト申請について対応した。

■学会・セミナー等 ※がついているものは発表を行ったもの、他は参加したもの

- 5月 大学ICT推進協議会(開催地:東京)
- 6月 学認に関するShibboleth環境構築セミナー活用編(主催:国立情報学研究所、開催地:東京)
- 6月 Interop Tokyo 2013(開催地:千葉)
- 8月 第25回情報処理センター等担当者技術研究会(主催:鳥取大学情報メディアセンター、開催地:鳥取)
- 9月 平成25年度国立大学法人情報系センター協議会の第10回総会、第17回学術情報処理研究集会、第8回研究集会/分科会(主催:千葉大学総合情報センター、場所:千葉大学)※
- 10月 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(情報処理コース)(開催地:北陸先端科学技術大学)
- 10月 SINET&学認説明会(主催:国立情報学研究所、開催地:名古屋)
- 1月 JAPAN IDENTITY & CLOUDSUMMIT(主催:国立情報学研究所、OpenIDファウンデーション・ジャパン)
- 1月 第36回東海地区大学センターシステム研究会(主催:東海地区大学センターシステム研究会、開催地:名古屋)
- 2月 三重大学技術発表会(主催:三重大学技術研修委員会、開催地:三重大学)※
- 2月 情報セキュリティセミナー(主催:文科省、国立情報学研究所、開催地:東京)
- 2月 「アカデミッククラウド環境構築に係るシステム調査」最終報告会(主催:大学ICT推進協議会、開催地:東京)
- 2月 クラウドサービス利用ガイドライン説明会(主催:広島大学、ネット参加)
- 3月 情報システム統一研修を受講した。(主催:総務省、開催地:e-learning)

■講習会

- 10月 「コンピュータ・ネットワークの適正利用について」(三重大学における研究に関する研修会)
- 3月 「コンピュータ・ネットワークの適正利用について」(第3回三重大学における研究に関する研修会)

■委員会

- 5月 三重大学総合情報処理センター運営委員会
- 1月 第1回三重大学情報ネットワーク専門委員会
- 3月 第2回三重大学情報ネットワーク専門委員会
- 3月 三重大学情報戦略会議

■耐震改修工事関連

- 4月 建築棟・分子素材棟改修工事のネットワーク打ち合わせを開始した。
- 4月 附属小学校体育館の改修工事のネットワーク打ち合わせを開始した。
- 4月 技術棟・美術棟・音楽棟・金工室の改修工事のネットワーク打ち合わせを行った。
- 4月 共通教育2号館改修工事に伴う仮設ネットワークの準備として、SW、光ファイバを4号館に移設し、一期工事期間中の4号館、屋内運動場、第5教室、190番教室、第1体育館、屋内運動場、文化系サークル共用施設(課外音楽棟)、合宿所の通信を確保した。
- 5月 情報基盤室の図書館移転に伴い、図書館、事務局、契約チーム、総研2、計算機棟での事務用LANの接続の再構成を行うとともに計算機棟の建屋SWを小型のものに交換した。
- 5月 地域イノベーション研究開発拠点工事の光ファイバ設置工事について、施設部、施工業者と打ち合わせを行った。
- 5月 施設部の依頼を受けて、医学部RI棟改修工事に伴うネットワークの相談を受け、ヒアリングおよび基本構成の検討を行った。
- 6月 施設部の依頼を受けて、新営2棟、改修2棟の概算要求作成のためのネットワークの相談を受け、基本構成の検討を行った。
- 7月 地域イノベーション研究開発拠点工事に伴う主機室～地域イノベ棟間の光ファイバクロージャおよび光スプライスユニットの設置、光ファイバの融着作業、二次側の成端工事を行った。
- 7月 工学部建築棟改修工事に伴うSW等機器設置及び仮設対応を行った。
- 8月 技術棟・美術棟・音楽棟改修工事竣工に伴い、アクセスポイント、SWの設定、設置を行った。
- 8月 第5教育端末室の改修工事に伴い、パソコン他機器、什器の搬出を行った。
- 9月 附属農場第1農産・第2農産棟改修工事のネットワーク打ち合わせを開始した。
- 9月 地域イノベーション研究開発拠点サーバ室の電源系統、非常用発電機、サーバラック、免振装置他設備回りの最終仕上げについて施設部と打ち合わせを行った。
- 9月 施設部の依頼を受けて、共通教育2号館改修工事竣工に伴う仮設ネットワークからの切り替え工事について、工事方法と手順の検討を行った。
- 9月 生物資源学部各建屋(共同実験A棟、生理生態実験室、機械実験室、製造実験工場)改修工事の打ち合わせを開始した。
- 9月 工学部分子素材棟改修工事に伴い、各種対応を行った。
- 9月 教育学部の依頼を受け、教育学部2号館改修工事の移転先にVLANサービスを行った。
- 9月 医学部の依頼を受けて、医学部RI棟改修工事の移転先にVLANサービスを行った。
- 10月 共通教育2号館改修工事の完成に伴い、SW、アクセスポイントの設定、設置を行った。
- 10月 総情センター第5教育端末室改修工事の完成に伴い、教室端末、プリンタ、プロジェクト他

機器、什器等の搬入、設置、動作確認を行った。

- 11月 工学部建築棟改修工事完成に伴い、アクセスポイント設置を行った。
- 11月 レーモンドホール改修工事に伴う打ち合わせを行った。
- 12月 地域イノベーション研究開発拠点改修工事に伴い、SW,アクセスポイントの設置を行った。
- 2月 教育学部2号館改修工事に伴い、SW、アクセスポイント、モバイル情報案内システムの設置を行った。
- 3月 附帯施設農場第1農産、第2農産の改修工事に伴うSW,アクセスポイントの設置を行った。
- 3月 附属小学校 体育館建て替え工事に伴うSW,アクセスポイントの設置を行った。
- 3月 工学部分子素材工学科 改修工事に伴い SW,アクセスポイントの設置を行った。
- 3月 生物資源学部各建屋(共同実験A棟、生理生態実験室、機械実験室、製造実験工場)改修工事に伴い、SW ,アクセスポイントの設置を行った。

■その他の活動

- 4月 平成24年度の印刷集計枚数、教室利用時間の集計を行った。
- 4月 全学学部1年生を対象とした情報科学基礎(情報リテラシ及び情報倫理)の教材作成及び講義を行った(総講義時間51.5h)。
- 6月 省エネ化のため、技術職員室および事務室の窓外に緑のカーテンを設置した。
- 6月 教員室、技術職員室、センター長室のロッカー、本棚の耐震固定を行った。
- 7月 学生が盗難被害にあったパソコン2台のキャンパスネットワークへの接続について調査、継続監視を行った。
- 7月 省エネ化のため、総情センターサーバ室ガラス窓・扉に断熱材を施工した。
- 8月 第5教育端末室で雨漏りがありSW他の機器が濡れて使用不可となったため、保証について施設部と調整を行った。
- 8月 総情センターサーバ室にサーキュレータ等を設置し、また、エアコンの運転の見直しにより、電力削減を図った。
- 8月 広報誌(2013年度)の発行を行った。
- 9月 「コンピュータ・ネットワーク利用ガイドライン」の作成に着手した。
- 9月 学生満足度調査への回答を行った。
- 11月 幹事監査報告への対応を行った。
- 11月 総情センターサーバ室(農場分室)に電力見える化システムを導入した。
- 1月 人文学部から依頼を受けて、同学部で使用されている全てのIPアドレスと場所の調査を行った。
- 3月 名誉教授のメールアドレスについて検討した。
- 3月 「キャンパスネットワーク利用ガイドライン(リーフレット)」の発行を行った。

センター利用状況

1 教室利用統計

1.1 教室利用時間割

(1) 前期

		1・2 限	3・4 限	5・6 限	7・8 限	9・10 限
		8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
月	第1			建築情報処理 基礎 共(北野 博亮) 45名		
	第2	情報数学要論Ⅱ 教(武本 行正) 20名	計算機工学特 論Ⅱ 工(北 英彦) 20名	情報科学 共(武本 行正) 25名		
	第3	法律経済学科 スタートアッ プセミナー 人(藤本 真理) 18名 4/22～5/13				
	第4 A	ISO 環境管理学 共(佐藤 邦夫) 60名		教育工学/教育 工学 I 教(須曾野 仁志) 100名	情報科学基礎 A, C 共(高田 孝広) 105名	情報科学基礎 B, D 共(高田 孝広) 105名
	第4 B					
	第5					
火	第1	法律経済学科 スタートアッ プセミナー 人(上井 長十) 36名 4/23～4/30	計算機基礎 共(小林 正) 50名			
	第2					
	第3			英語Ⅱリーディ ング 共(Andrew Blyth) 20名	英語Ⅱライティ ング 共(Andrew Blyth) 20名	

	第4 A	応用環境情報学特論 生(佐藤 邦夫) 20名	数値計算と統計処理 I 共(井岡 幹博) 25名	情報数学概論 教(井岡 幹博) 20名	教育工学演習 教(下村 勉) 40名	情報科学基礎 共(岡田 良明) 55名
	第4 B		情報科学基礎 共(魚住 明生) 50名	情報工学実験 I 工(山田 俊行) 58名 4/30~6/11		
	第5					
水	第1	計算機工学II 工(鶴岡 信治) 60名				
	第2	法律経済学科 スタートアップセミナー 人(藤本 真理) 36名 4/24~5/1				
	第3					
	第4 A	情報科学基礎 共(大西 拓, 三谷 昌輝) 110名	情報科学基礎 及び初級プログラミング演習 工(大山 航) 70名	情報科学基礎 I(基礎) 共(植木 洋) 100名	情報科学基礎II (応用) 共(植木 洋) 40名	社会医学・社会 と医学 医(笠島 茂) 140名
	第4 B					
	第5					
木	第1		学術情報論A 人(三根 伸二) 50名	機械設計基礎及び製図演習 工(中村 裕一, 松井 正仁) 60名		
	第2		情報科学 共(谷口 礼偉) 25名			ロボット工学特論 工(加藤 典彦) 30名

	第3		コンピュータ教育 教(松浦 均) 15名			
	第4A	法律経済学科 スタートアップセミナー 人(藤本 真理) 36名 4/25~5/2	上級プログラミング演習Ⅰ 工(若林 哲史, 佐々木敬泰, 大野和彦) 61名	プログラミング演習Ⅱ 工(鶴岡 信治) 90名	情報科学基礎 共(須曾野 仁志) 45名	博物館情報・メディア論 人・教・生(須曾野 仁志) 90名
	第4B	法律経済学科 スタートアップセミナー 人(藤本 真理) 36名 4/18~5/2	家庭情報処理/ 消費情報処理 教(石田 修二) 20名		情報科学基礎 共(奥村 晴彦) 50名	
	第5			CAD製図 生(保世院 座狩屋) 30名		
金	第1	情報科学基礎 共(山田 雄司) 40名				情報科学基礎 共(丹保 健一) 45名
	第2	応用シミュレーション工学 生(佐藤 邦夫) 30名		建築情報処理応用 工(北野 博亮) 20名		情報科学基礎 教(丁 亜希) 22名
	第3					
	第4A	情報科学基礎 共(伊藤 厚貴) 40名		ソフトウェア工学 工(五味 弘) 60名 5/17~7/12		計算機基礎Ⅰ及び演習 共(北 英彦)

第 4 B	情報科学基礎 共(本廣 陽子) 40名				100名
第 5					

(2)後期

		1・2限	3・4限	5・6限	7・8限	9・10限
		8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
月	第1	情報処理特論 工(鶴岡 信治) 23名 10/7～12/16		機械設計製図演習 工(松井 正仁) 60名		計算機言語 工(野呂 雄一) 50名
	第2	情報数学概論Ⅱ 教(武本 行正) 20名	情報科学 共(武本 行正) 25名			
	第3					
	第4 A		教育実践演習 共(須曾野 仁志) 40名			数理統計学要論 教(奥村 晴彦) 25名
	第4 B					
	第5					
火	第1	プログラミング 演習Ⅰ 工(森 香津夫) 50名			電子計算機実習Ⅱ 教(山守 一徳) 25名 9限まで	
	第2		障がい学生支援 実践 共(横山 慶) 40名 10/22～11/26			計算機ネットワ ーク 教(丁 亜希) 20名
	第3			英語Ⅱリーデ ィング 共(Andrew Blyth) 20名	英語Ⅱライテ ィング 共(Andrew Blyth) 20名	
	第4 A	プログラミング 言語 工(高瀬 治彦) 80名	数値計算と統計 処理Ⅱ 共(井岡 幹博) 25名	情報数学演習 教(井岡 幹 博) 20名	教育工学／教 育工学Ⅱ 教(下村 勉) 40名	基礎物理学Ⅰ 共(佐藤 邦夫) 60名

	第4 B		ネットワーク文化論 教(奥村 晴彦) 25名			
	第5					
水	第1					機械設計製図Ⅱ 工(安藤俊剛, 西村頭, 村田淳介) 100名 10/2~12/18
	第2		食糧生産システム学 生(佐藤 邦夫) 20名			
	第3	地域経営工学演習 工(浦山 益郎) 10名				
	第4 A	電子計算機プログラミング及び演習 共(前田 太佳夫) 100名 2~4限		基礎統計学 生(坂井 勝) 70名	情報科学演習 生(坂井 勝) 70名	
	第4 B					
	第5					
木	第1		数値熱流体力学 工(辻本 公一) 50名	情報政策学 教(石田 修二) 15名	共生環境フィールドサイエンス 概論・実習 生(佐藤 邦夫) 35名 7~9限	
	第2		情報科学 共(谷口 礼偉) 25名	電気電子設計(制御システム設計) 工(駒田 諭) 24名		
	第3			環境情報システム工学実習Ⅰ 生(鬼頭 孝治) 20名 5~7限	プログラミングⅡ 教(山守 一徳) 20名	
	第4 A			電気電子設計(ソフトウェア設計) 工(北 英彦) 24名		

	第4 B		地域経済分析 人(朝日 幸代) 25名	電気電子設計(アナログ電子回路設計) 工(山村 直紀) 24名		
	第5					
金	第1	アルゴリズムと データ構造 工(高瀬 治彦) 30名				
	第2		応用制御工学特 論 生(佐藤 邦夫) 20名			プログラミング I 教(丁 亜希) 22名
	第3			機電工学実験II 工(永住 和寛) 14名		シミュレーショ ン概論 教(萩原 克幸) 20名
	第4 A	情報学概論 教(奥村 晴彦) 25名	数値解析 教(萩原 克幸) 20名			
	第4 B					
	第5					

(3) 随時

利用期間	利用教室	所属学部	授業名
2013			
4/4(10:30~12:00)	3	人文学部	スタートアップセミナー 予行演習
4/17, 4/24(13:00~14:30)	1,2	工学部	機械工学 フレッシュマンゼミナール
4/24, 5/1(8:50~10:20)	5	人文学部	法律経済学科 スタートアップセミナー
4/28(終日)	4,5	受変電設備定期点検に伴う停電	
5/14(10:30~12:00)	2	工学部	回路演習
5/22, 5/29(13:00~14:30)	1	医学部	看護研究方法論 (図書館文献検索講習会)
5/31(10:30~12:00)	4A	教育学部	心理統計法
6/3(10:30~12:00)	4B	工学部	離散数学
6/14(10:30~12:00)	2	教育学部	心理統計法
6/14(10:30~12:00)	4B	医学部	社会と医学
6/17(14:40~17:50)	1	全学 FD	WEB 授業アンケートシステムによる授業改善
6/28, 7/5, 7/12 (13:00~14:30)	1	教育学部	心理データ解析法
7/2(18:00~19:30)	1	共通教育	ISO 環境管理学
7/12, 7/19, 7/26 (14:40~16:10)	3	人文学部	労働法演習
7/13, 7/27, 8/7 (9:00~17:50)	4A	教育免許状更新演習	学習者のためのデジタルストーリーテリング
7/27(9:00~17:50)	4B	教育免許状更新演習	教育における ICT(情報通信技術)の活用
7/28(終日)	2	受変電設備定期点検に伴う停電	
7/29(10:30~12:00)	4B	工学部	離散数学
8/2(10:30~12:00)	2	教育学部	心理統計法

8/5(14:40~16:10), 8/7(11:15~17:05), 8/8(11:15~17:05)	1	医学部	看護 CBT(8日は予備日)
8/6(10:30~12:00)	3	地域イノベーション学 研究会	FD 研修会
8/6(9:00~17:00)	4B	高大連携サマーセミナー	高大連携サマーセミナー
8/9(9:00~17:50)	4A	教員免許状更新演習	Web プログラミング
8/12, 8/13(10:30~12:00)	1	工学部	離散数学
8/19~8/22(8:50~14:30) 8/23(8:50~16:10)	1	人文学部	統計学
8/21~8/23(8:50~17:50)	3	教育学部	教育評価学
8/22(9:00~17:50)	2	教員免許状更新演習	パソコンによる数値計算と統計処理
8/22, 8/23(8:50~17:50)	4B	生物資源学研究科	海洋個体群動態学特論
8/26~8/29(8:50~12:00)	1	人文学部	経済統計
8/30(8:50~17:50)	4AB	工学部	知識財産権概論, 特別講義 II
9/3, 9/5(8:50~17:50)	4AB	工学研究科	知識財産権出願特論
9/5, 9/10(9:00~16:00)	1	人事チーム	事務情報化研修会
9/24~9/26 (14:40~16:10) 9/27(13:00~14:30)	4AB	共通教育センター	プレ TOEIC 補習
9/28(9:00~17:50)	4B	教員免許状更新演習	統計解析入門
10/18(13:00~17:50) 12/6(13:00~17:50) 12/13(8:50~17:50)	4AB	医学部	共用試験 CBT 動作確認 共用試験 CBT 体験テスト 共用試験 CBT
11/8, 11/15, 11/22 (13:00~14:30) 11/19(16:20~17:50)	4B	工学部	プログラミング言語 (特別演習)
11/12, 11/26, 1/7 (13:00~14:30)	4B	工学部	システム制御工学
11/15(8:50~10:20)	2	生物資源学研究科	応用制御工学特論

11/19, 11/20 (16:20~17:50)	3	工学部	電気電子設計(ソフトウェア設計)補習
11/21, 11/28 (8:50~10:20)	3	教育学研究科	障害者心理特論演習
11/27, 12/4 (16:20~17:50)	3	工学部	プログラミング言語 (特別演習)
12/10(16:20~17:50)	3	工学部	プログラミング言語 (プログラミング発展学習)
12/11(16:20~17:50)	4B	工学部	プログラミング言語
12/12(8:50~10:20)	3	人文学部	産業経済論総論演習
12/13(8:50~10:20)	2	教育学部	情報概論
12/13(10:30~12:00)	1	教育学部	数値解析Ⅱ
12/25(8:50~17:50)	5	医学部	共用試験 CBT 再試験動作確認
1/10(8:50~17:50)	5	医学部	共用試験 CBT 再試験
2/14(13:00~14:30)	3	工学部	プログラミング言語, アルゴリズムとデータ構造
2/18, 2/19(9:00~16:00)	1	人事チーム	三重大学事務情報化研修会
3/3~3/6, 3/13, 3/14, 3/17, 3/18 (13:00~16:10)	4B, 5	共通教育センター	英語Ⅰプレ TOEIC 補習

1.2 端末利用時間・のべ利用者数・実利用者数

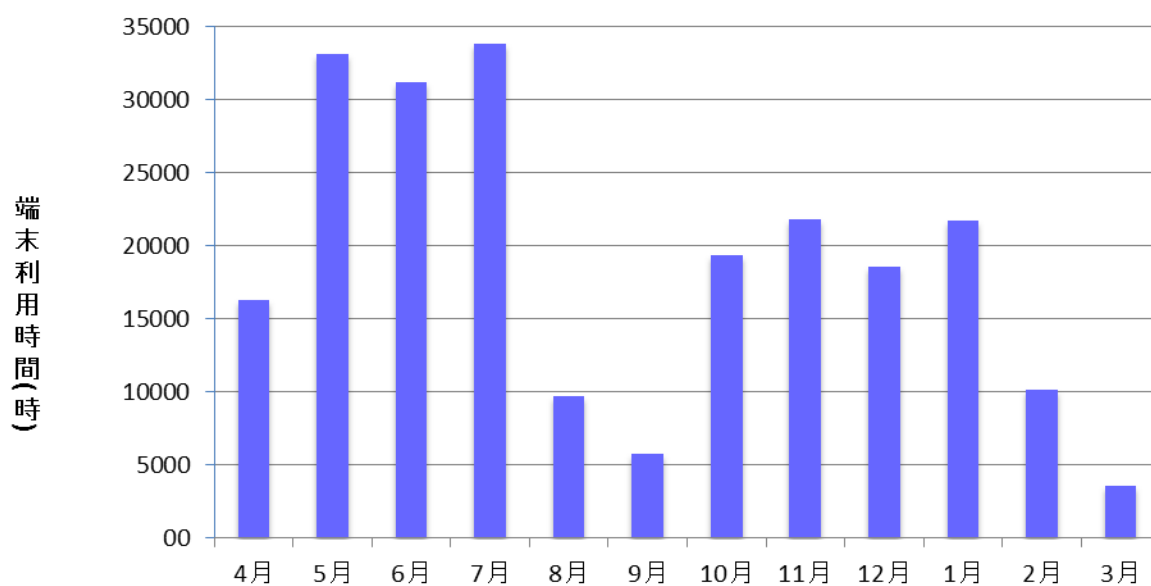
2012年度分を対象としています。特記なき「学年」は、学部生の学年です。

(1)端末利用時間

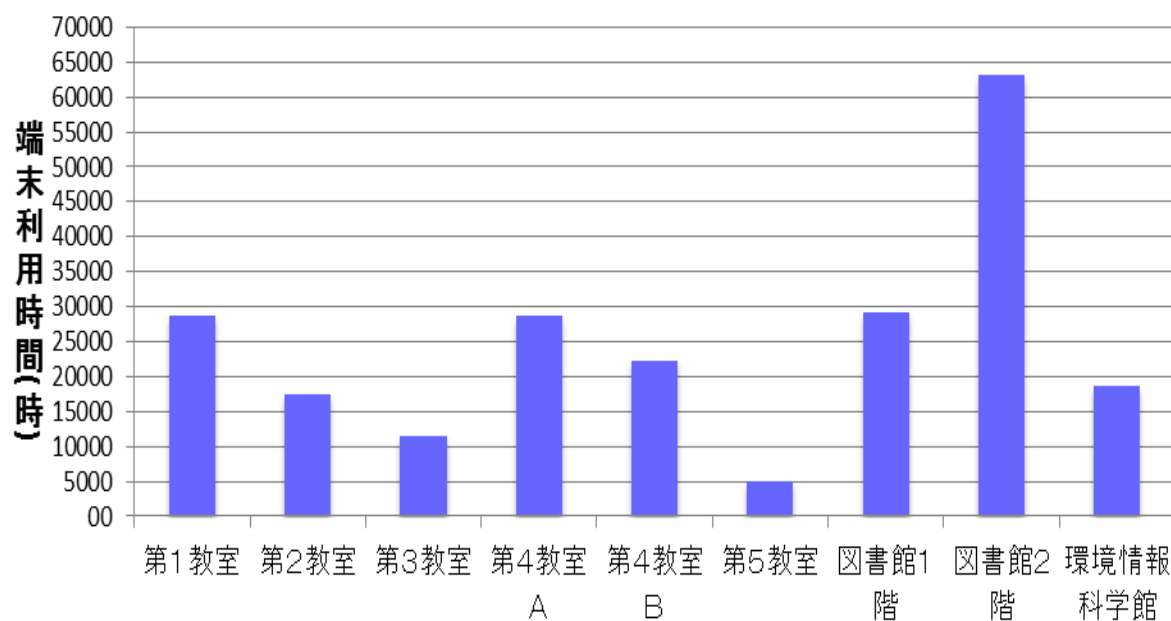
端末利用時間に関する統計です。

(a)端末利用時間（月別）

総端末利用時間を月別に集計してあります。

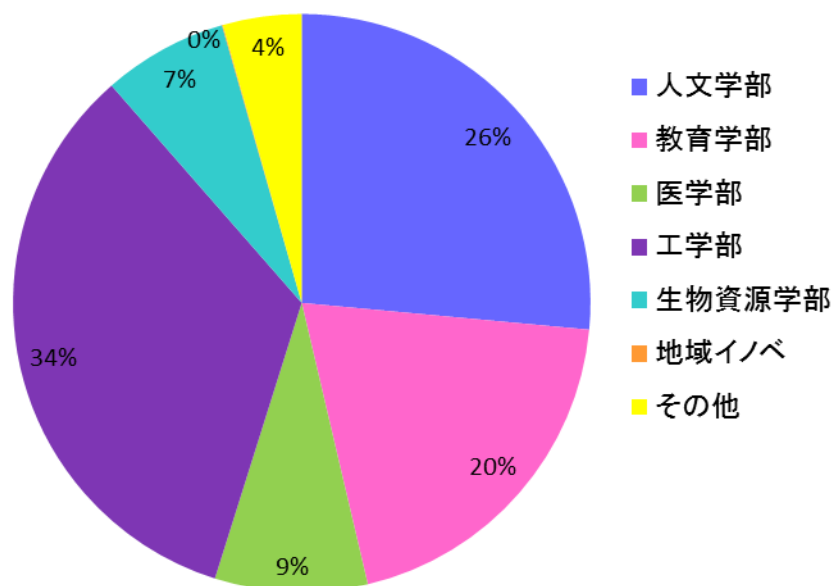


(b)端末利用時間（教室別）



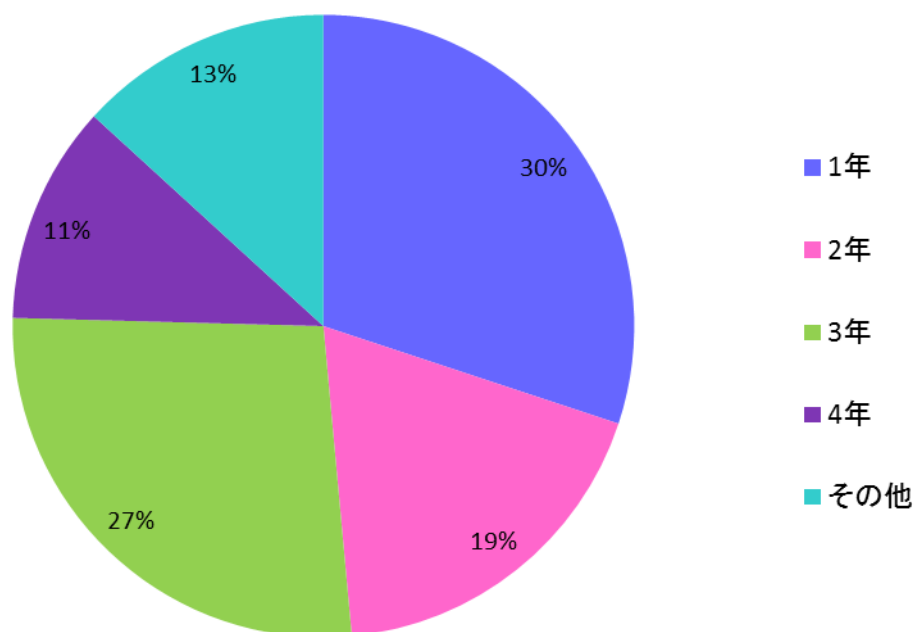
(c)端末利用時間（学部別）

総端末利用時間の学部別割合を示しています。



(d)端末利用時間（学年別）

総端末利用時間の学年別割合を表しています。

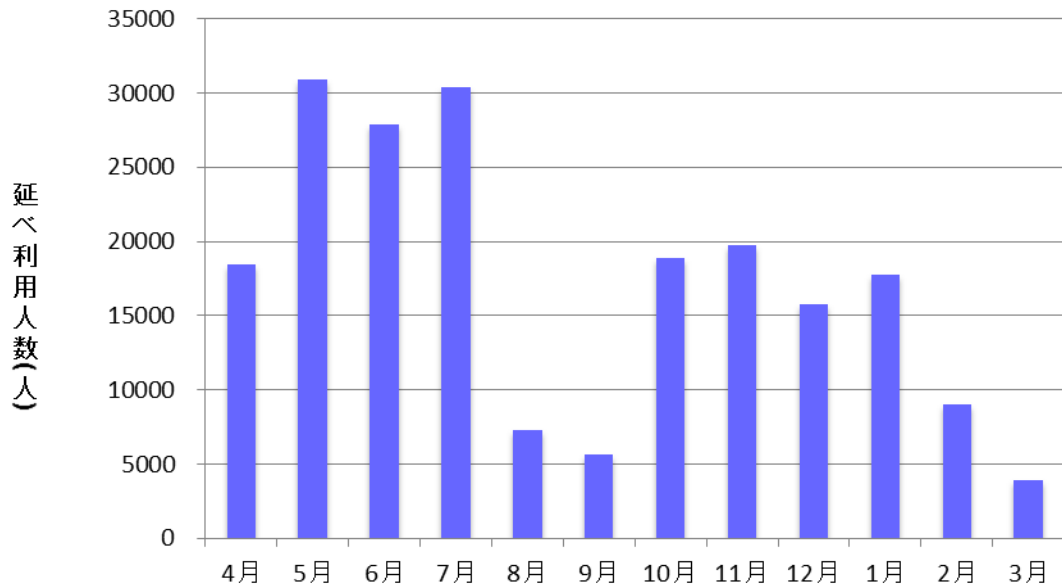


(2)のべ利用者数

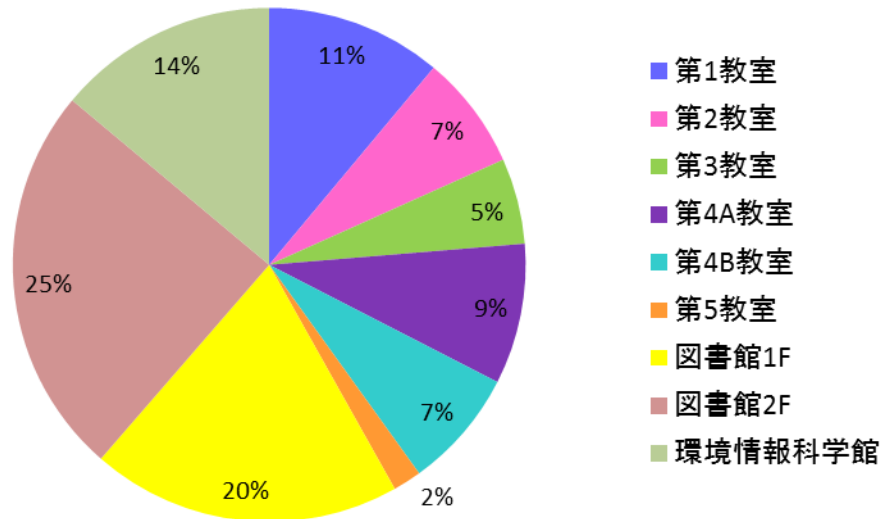
端末を利用した、のべ利用者数に関する統計です。

(a)のべ利用者数（月別）

月ごとの、のべ端末利用者数を計上してあります。

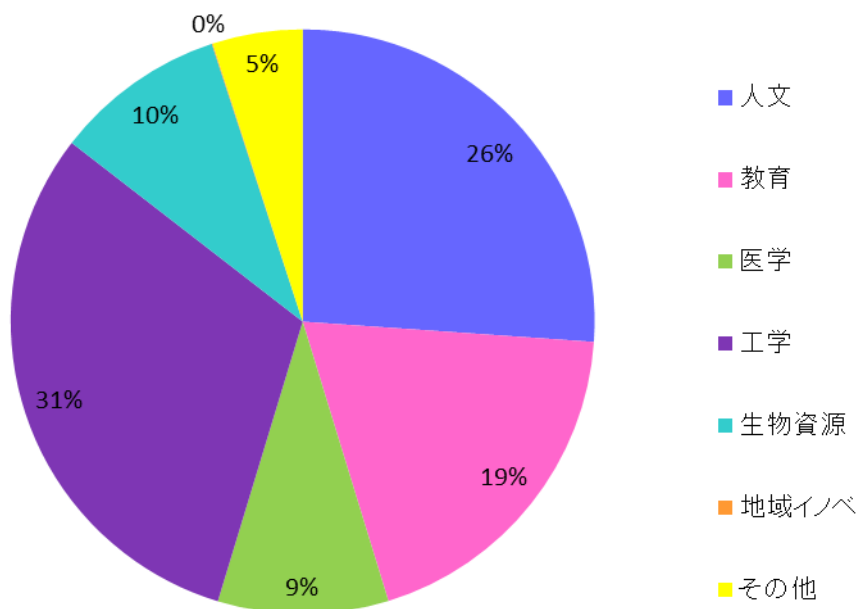


(b) のべ利用者数(教室別)



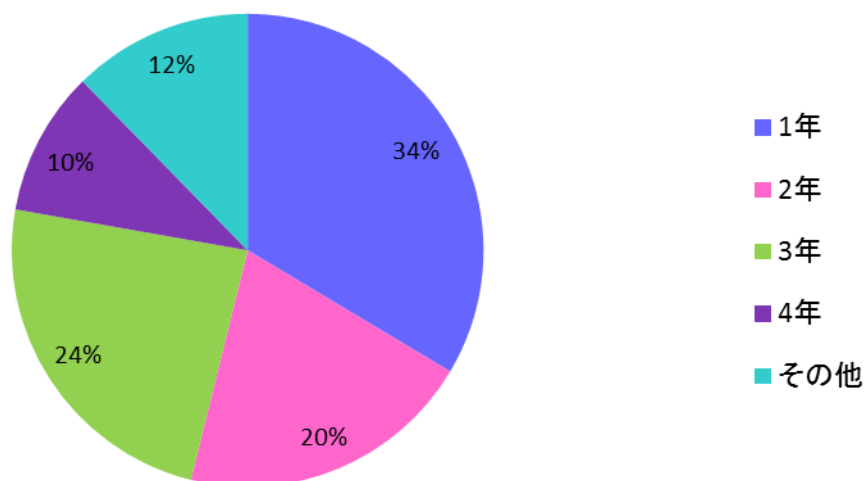
(c)のべ利用者数（学部別）

のべ利用者数の学部別割合を示しています。



(d) のべ利用者数（学年別）

のべ利用者の学年別割合を示しています。

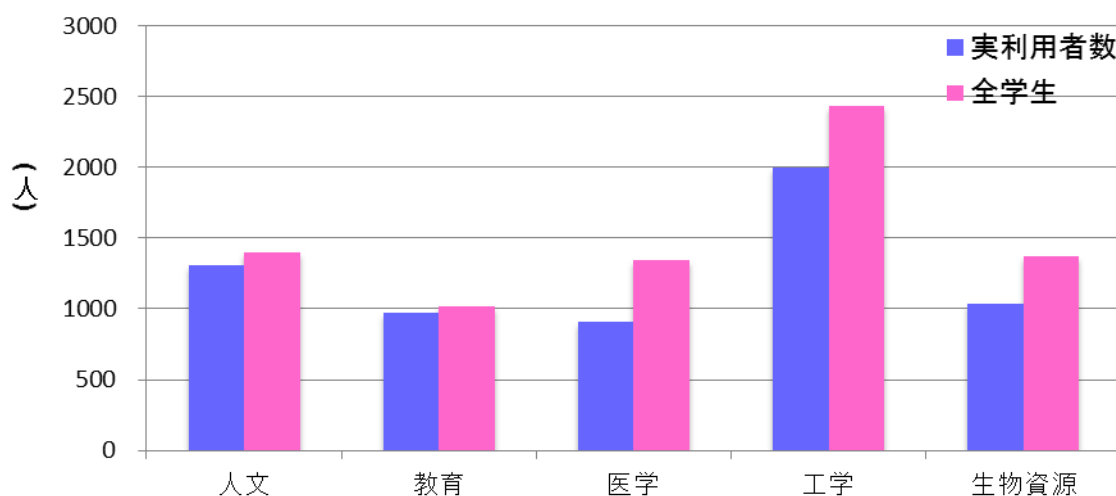


(3)実利用者数

のべ利用者数と異なり、同一利用者の重複をカウントしない実利用者に関する統計です。

(a)学生総数に対する端末実利用者数及び学部別割合

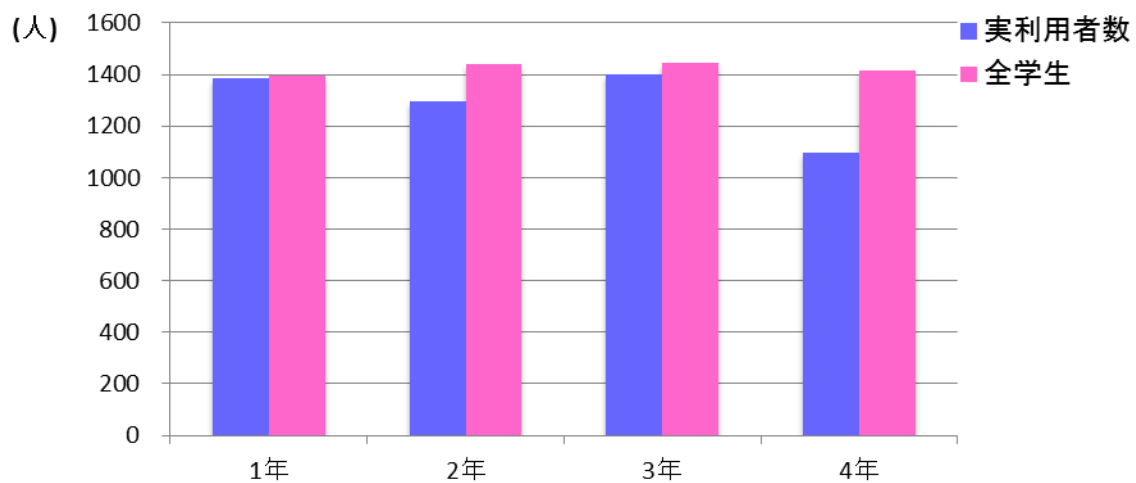
アカウント発行対象学生数（ほぼ全学生）に対する端末の実利用者数と、その学部別割合を示しています。



	人文	教育	医学	工学	生物資源
実利用者数	1193	831	817	1562	904
全学生数	1253	877	1069	1831	1112
実利用者割合	95%	95%	76%	85%	81%

(b)学生総数に対する端末実利用者数及び学年別割合

アカウント発行対象学生（ほぼ全学生）に対する端末の実利用者数学年別割合を示しています。

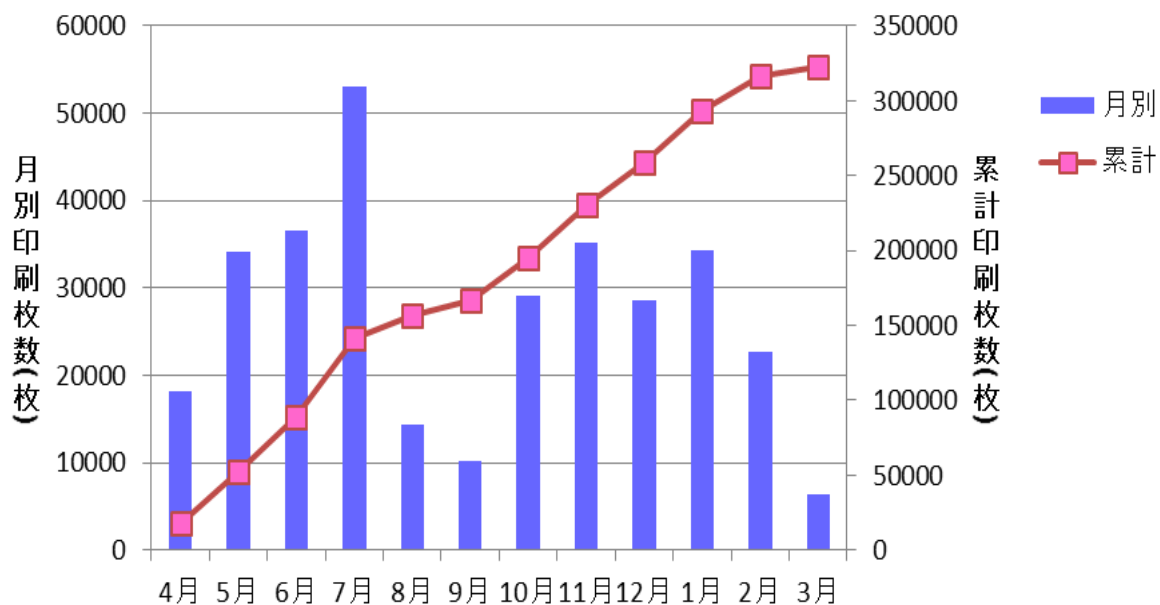


	1年	2年	3年	4年
実利用者数	1352	1271	1354	1036
全学生数	1378	1387	1428	1732
実利用者割合	98%	95%	95%	61%

1.3 印刷関連統計

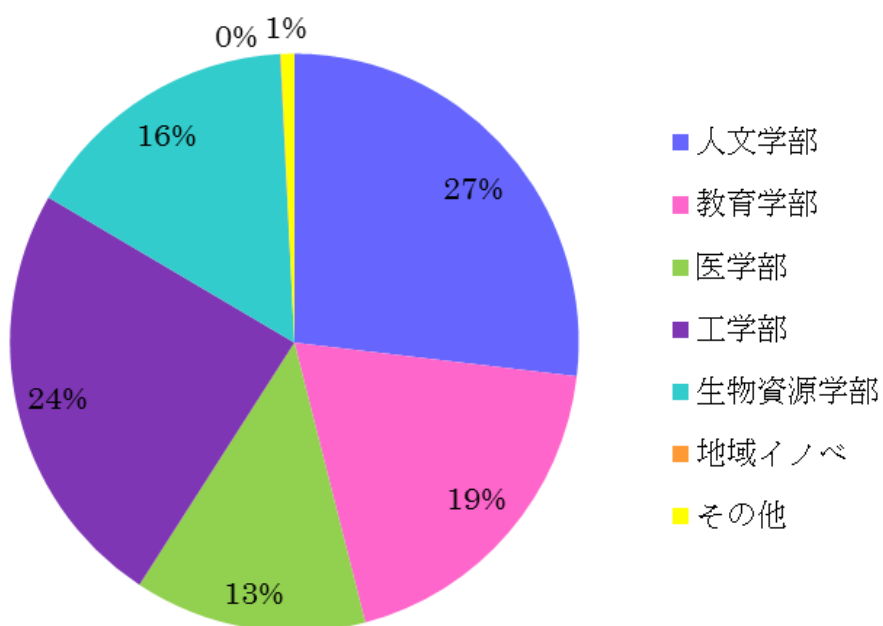
(a) 印刷枚数（月別）及び累計

月別の印刷枚数および累計印刷枚数を示しています。



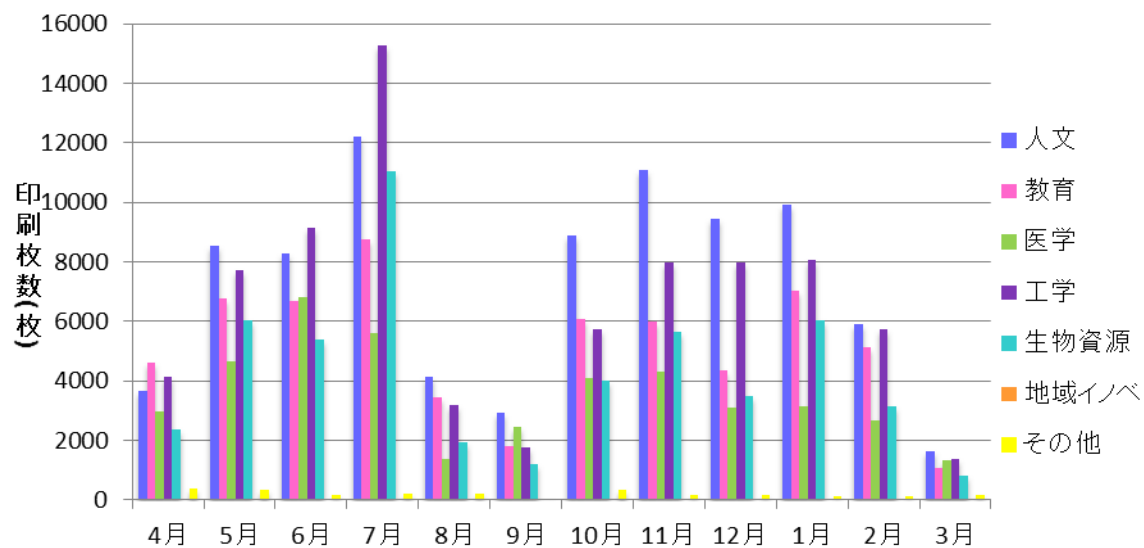
(b)印刷枚数（学部別割合）

総印刷枚数の学部別割合を示しています。



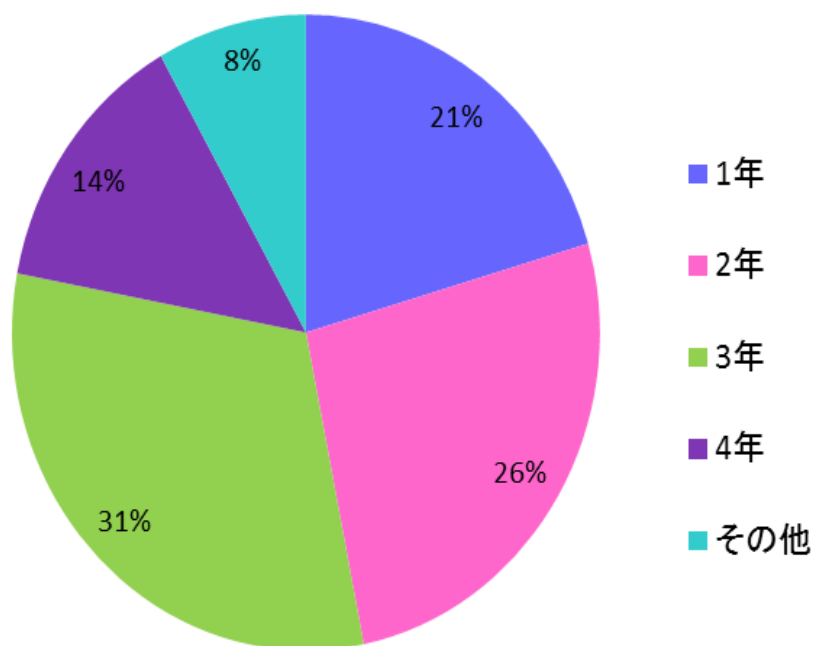
(c)印刷枚数推移（学部別）

学部別印刷枚数の推移を月別に示しています。



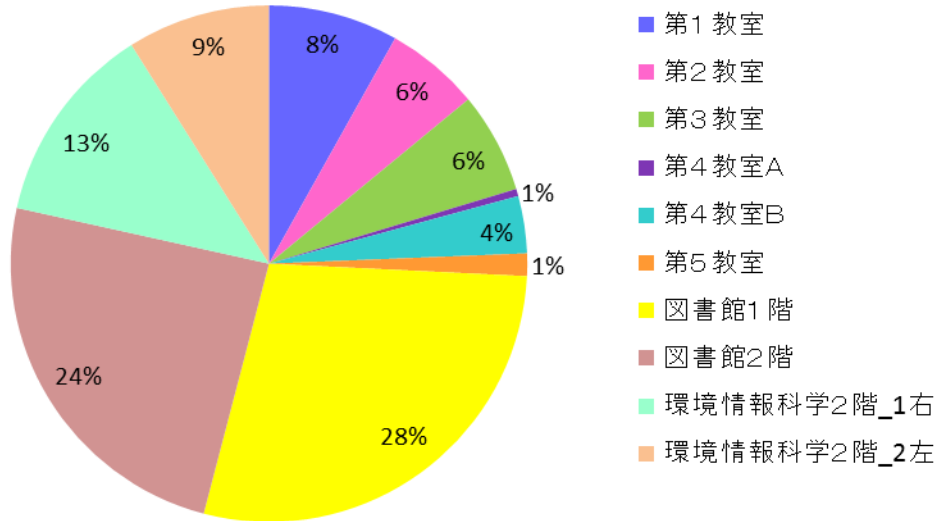
(d)印刷枚数・学年別割合

総印刷枚数の学年別割合を示しています。



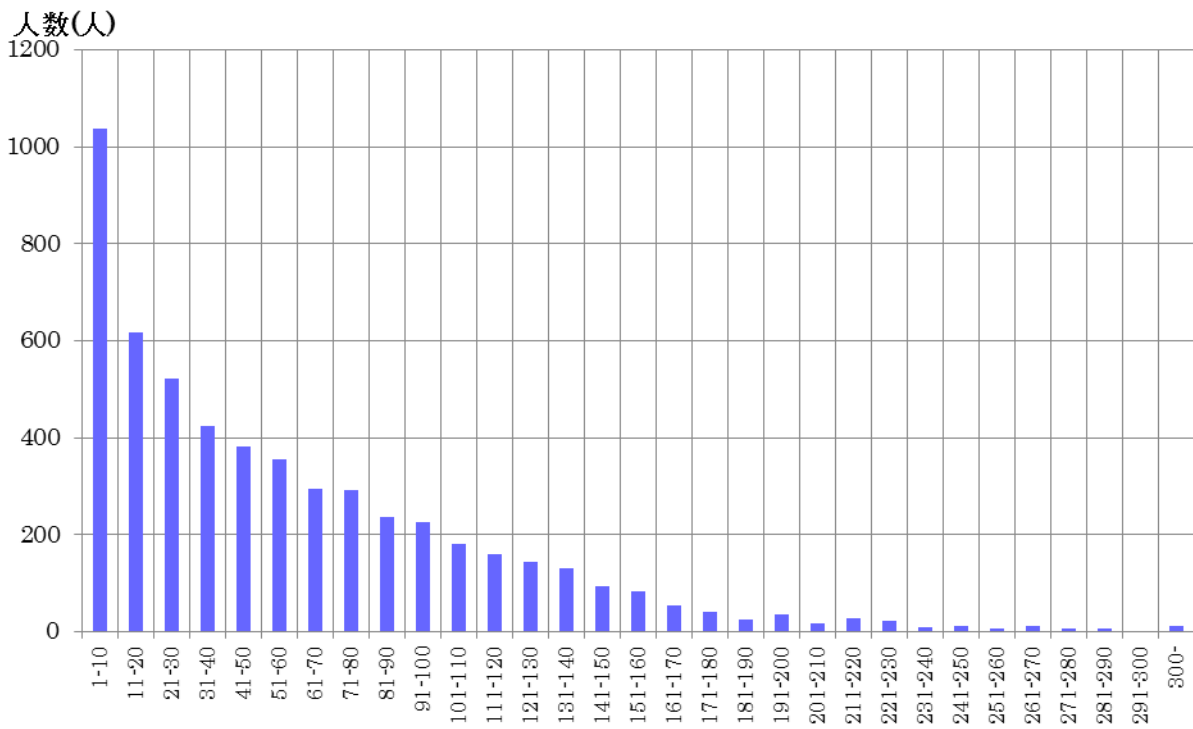
(e)印刷枚数・教室別割合

総印刷枚数の教室別割合を示しています。



(f)印刷枚数に関する利用者数分布

どれくらいの枚数を印刷した利用者数が多いかを示しています。



三重大学総合情報処理センター運営委員会委員

平成 25 年 4 月 1 日現在

所属学部名等	職 名	氏 名	備 考
理 事	理 事 副学長	吉岡 基	研究・情報担当
総合情報処理センター	教 授	井須 尚紀	センター長
	准教授	杉浦 徳宏	
	助 教	堀川 慎一	
	助 教	三橋 一郎	
人文学部	講 師	三根 慎二	
教育学部	教 授	丁 亜希	
医学研究科	講 師	高田 孝広	
工学研究科	准教授	加藤 典彦	
生物資源学研究科	教 授	橋本 篤	
地域イノベーション学研究科	教 授	山守 一徳	
共通教育センター	教 授	小海 文夫	
事務局	部 長	山村 幹夫	学術情報部

三重大学情報ネットワーク専門委員会委員

平成 26 年 1 月 1 日現在

所属学部名等	職 名	氏 名	備 考
学長補佐	学長補佐	奥村 晴彦	情報担当
総合情報処理センター	教 授	井須 尚紀	センター長
	准教授	杉浦 徳宏	
人文学部	講 師	三根 慎二	
教育学部	教 授	丁 亜希	
医学系研究科	助 教	坂本 良太	
附属病院	講 師	安積 良紀	
工学研究科	助 教	河村 貴宏	
生物資源学研究科	助 教	伊藤 良栄	
共通教育センター	教 授	松村 直人	
事務局	室 長	佐野 洋一	情報基盤

○三重大学総合情報処理センター規程

改正

平成17年5月26日規程

平成18年5月18日規程

平成25年3月29日規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人三重大学学則第8条第2項の規定に基づき、三重大学総合情報処理センター(以下「センター」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、本学における情報処理システム及び情報ネットワークシステムを一元的、安全かつ効率的に運用し、研究及び教育に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学術研究のための情報システムに関すること。
- (2) 学術情報の処理及び提供に関すること。
- (3) 情報教育及び情報ネットワークに関すること。
- (4) その他情報技術に関すること。

(職員)

第4条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 大学教員及びその他必要な職員

(センター長)

第5条 センター長は、センターの業務を掌理する。

(センター長及び大学教員の選考)

第6条 センター長及び大学教員の選考については、別に定める。

(兼務の大学教員)

第7条 センターに、兼務の大学教員を置き、センター長が選考し、学長が任命する。

2 兼務の大学教員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の兼務の大学教員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第8条 センターの運営に関する事項を審議するため、三重大学総合情報処理センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(利用)

第9条 センターの利用に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第10条 センターに関する事務は、学術情報部情報・図書館チーム情報基盤室において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年5月26日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則（平成17年5月26日規程）

この規程は、平成17年5月26日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則（平成18年5月18日規程）

この規程は、平成18年5月18日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則（平成25年3月29日規程）

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

○三重大学総合情報処理センター運営委員会規程

改正

平成17年5月26日規程

平成18年2月23日規程

平成18年5月18日規程

平成21年11月12日規程

平成25年3月28日規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重大学総合情報処理センター規程第8条第2項の規定に基づき、三重大学総合情報処理センター運営委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 総合情報処理センター(以下「センター」という。)の運営に関する基本事項
- (2) センターの事業計画に関する事項
- (3) その他センターの運営に関する必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 情報を担当する理事
- (2) センター長
- (3) 各学部又は研究科から推薦された大学教員 各1名
- (4) センターの大学教員
- (5) 共通教育センターから推薦された大学教員 1名
- (6) 学術情報部長

2 前項第3号及び第5号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(専門委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学術情報部情報・図書館チーム情報基盤室において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成16年5月26日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 この規程の施行の際現に廃止前の三重大学総合情報処理センター運営委員会規程(平成15年4月1日制定)第3号第1項第3号及び第4号の委員である者は、この規程の第3条第1項第3号及び第5号の委員とみなし、その任期は、同条第2項の規定にかかわらず、従前の残任期間とする。

附 則 (平成17年5月26日規程)

- 1 この規程は、平成17年5月26日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行の際現に改正前の第3条第1項第3号の医学部の委員である者は、この規程の第3条第1項第4号の委員とみなし、その任期は、同条第2項の規定にかかわらず、従前の残任期間とする。

附 則 (平成18年2月23日規程)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年5月18日規程)

- 1 この規程は、平成18年5月18日から施行し、平成18年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行の際現に改正前の第3条第1項第3号及び第4号の委員である者は、この規程の第3条第1項第3号の委員とみなし、その任期は、同条第2項の規定にかかわらず、従前の残任期間とする。

附 則(平成21年11月12日規程)

この規程は、平成21年11月12日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則(平成25年3月28日規程)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

○三重大学情報ネットワーク専門委員会規程

改正

平成17年9月27日規程

平成18年5月18日規程

平成21年4月23日規程

平成21年9月30日規程

平成25年3月28日規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重大学情報戦略会議規程第7条第2項の規定に基づき、三重大学情報ネットワーク専門委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を処理する。

- (1) 情報ネットワークの運営に関する事項
- (2) 学外ネットワークとの連絡調整に関する事項
- (3) その他情報ネットワークに関する必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 総合情報処理センター長
- (2) 各学部又は研究科から推薦された大学教員 各1名
- (3) 医学部附属病院から推薦された大学教員 1名
- (4) 学内共同教育研究施設等から推薦された大学教員 1名
- (5) 学術情報部情報・図書館チーム情報基盤室長
- (6) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第2号から第4号まで及び第6号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、総合情報処理センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(部会)

第7条 委員会は、必要に応じて部会を置くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学術情報部情報・図書館チーム情報基盤室において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年5月26日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則(平成17年9月27日規程)

- 1 この規程は、平成17年9月27日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行の際現に改正前の第3条第1項第3号の医学部の委員である者は、この規程の第3条第1項第4号の委員とみなし、その任期は、同条第2項の規定にかかわらず、従前の残任期間とする。

附 則(平成18年5月18日規程)

- 1 この規程は、平成18年5月18日から施行し、平成18年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行の際現に改正前の第3条第1項第3号及び第4号の委員である者は、この規程の第3条第1項第3号の委員とみなし、その任期は、同条第2項の規定にかかわらず、従前の残任期間とする。

附 則(平成21年4月23日規程)

- 1 この規程は、平成21年4月23日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行の際現に改正前の第3条第1項第3号及び第4号の委員である者は、この規程の第3条第1項第3号の委員とみなし、その任期は、同条第2項の規定にかかわらず、従前の残任期間とする。

附 則(平成21年9月30日規程)

この規程は、平成21年10月1日から施行する。

附 則(平成25年3月28日規程)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

○三重大学総合情報処理センター利用規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重大学総合情報処理センター規程第8条の規定に基づき、三重大学総合情報処理センター(以下「センター」という。)の利用に関し必要な事項を定める。

(利用の条件)

第2条 センターは、情報処理及び情報ネットワークに関する学術研究及び教育並びに大学運営上必要な業務を行う場合に利用できるものとする。

(利用者の資格)

第3条 センターを利用することができる者は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 本学の職員
- (2) 本学の学生
- (3) その他センター長が適当と認めた者

(利用の申請)

第4条 センターを利用(情報処理教育を除く。)しようとする者は、所定の利用申請書をセンター長に提出するものとする。

2 情報処理教育のためにセンターを利用しようとする場合は、別に定める。

(利用の承認)

第5条 センター長は、前条の申請が適当であると認めたときは、これを承認し、申請者に利用番号を付して、通知するものとする。

2 前項の承認の有効期限は、当該年度限りとする。

(申請事項の変更)

第6条 前条の承認を得た者(以下「利用者」という。)は、利用申請書の記載事項に変更が生じた場合には、速やかにセンター長に届け出なければならない。

(利用番号の転用の禁止)

第7条 利用者は、その利用番号を他の目的に使用し、又は第三者に使用させてはならない。

(利用の方法)

第8条 センターの機器の使用は、利用者自身が行うものとする。

2 センターの機器等の使用に際して必要な事項は、別に定める。

(報告等)

第9条 センター長は、必要に応じて利用者に対し、センター利用の経過及び結果について報告を求めることができる。

2 利用者は、研究等の成果を論文等によって公表するときは、その論文等にセンターを利用した旨を明示するものとする。

(利用承認の取消し等)

第10条 センター長は、利用者が、この規程若しくはこの規程に基づく定めに違反し、又はセンターの運営に支障をきたしたとき若しくはそのおそれがあると認められたときは、その利用承認を取消し、又はその利用を停止させることができる。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、センターの利用に関し必要な事項は、運営委員会の議を経てセンター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年7月14日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

三重大学総合情報処理センター利用細則

(趣旨)

第1条 この細則は、三重大学総合情報処理センター利用規程第11条の規定に基づき、三重大学総合情報処理センター（以下「センター」という。）の一般的な利用に関し必要な事項を定める。

(利用の申請)

第2条 利用の申請に際しては、所定の利用申請書に必要事項を記入するとともに、次のうち一つ以上を呈示しなければならない。

- 一 学生の場合、学生証、職員の場合、本学発行の身分証明書
- 二 前号に合致するものを呈示できない場合、本学にて教育を受けていることを証明するもの。
- 三 第1号又は第2号に合致するものを呈示できない場合、指導大学教員の承認を示すもの。

2 センター長が別に定めるシステム及びサービスの利用については、年度当初における本学在籍データの確認をもって利用申請がなされたとみなすことができる。

(利用の承認)

第3条 センター長は、利用の申請を承認した場合は、利用番号及び初期パスワードを申請者に通知するものとする。

(パスワードの管理)

第4条 利用者は、パスワードについて他者に知られてはならない。

2 利用者は、通知された初期パスワードを変更することができる。ただし、変更によるトラブルは本人の責とし、変更したパスワードの問合せにはセンターは応じない。

(利用時間)

第5条 センターの利用時間は、月曜日から金曜日まで(国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に定める休日及び年末年始（十二月二十九日から翌年一月三日まで）を除く。）の8時40分から20時50分までとする。ただし、センター長が業務運営上必要と認めるときは、センターの利用の全部又は一部を休止し、又は延長する。

(機器の利用)

第6条 センターの機器の利用は、原則として受付順によるものとする。ただし、別に定める一部の特殊機器については予約制により行うものとする。

2 センターの機器の利用に際しての詳細は、マニュアル及び利用の手引きその他説明書に基づくものとし、利用者に配布されるものを除きセンター長の許可なくセンターから持ち出してはならない。

3 消耗品類の利用については、一定の制限を設けることがある。

4 その他センターの利用に際しては、センターで定める利用の手引き等を遵守しなければならない。

(ライセンスによる利用制限)

第7条 センターの機器の利用については、システム及びサービスの利用許可とは別に、機器に定めるライセンス上の使用許諾の制限を受ける。

(セキュリティポリシーの厳守)

第8条 センターの利用に際しては、三重大学情報セキュリティポリシー及び情報セキュリティポリシー実施手順書を厳守しなければならない。

(利用の停止及び処分)

第9条 利用者が、この細則若しくはこの細則に基づく定めに違反し、又はセンターの運営に重大な支障をもたらした場合には、センター長は、利用の承認を取消し、又は一定期間センターの利用を停止させることができる。また、特に悪質とセンター長が認めた場合には、利用者の身分に関する処分について、その権限を有する意思決定機構（教授会等）に対し、当該行為の報告及び処分の勧告を行う。

(利用の相談)

第10条 センター利用に係る相談に対処するため、センターにセンター利用相談室（事務室）を置く。

(雑則)

第11条 この細則に定めるもののほか、センターの利用に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

三重大学総合情報処理センター情報処理教育システム利用細則

(趣旨)

第1条 この細則は、三重大学総合情報処理センター利用規程第4条第2項の規定に基づき、三重大学総合情報処理センター（以下「センター」という。）の情報処理教育システムの利用に関し必要な事項を定める。

(優先利用の範囲)

第2条 情報処理教育システム端末室（以下「教育端末室」という。）を占有若しくは優先的に使用することができる場合は、次のとおりとする。

- 一 授業科目の授業に利用する場合
- 二 その他特にセンター長が必要と認めたものに利用する場合

2 前項第2号の利用に関し必要な事項は、別に定める。

(一般利用の範囲)

第3条 前条に合致しない一般的な利用については、前条の利用に影響しない範囲内において許可する。利用者は、三重大学総合情報処理センター利用細則に従う。

(利用の申請)

第4条 第2条の規定による利用を行う場合、担当大学教員は授業科目ごとに所定の総合情報処理センター教育システム利用申請書をセンター長に所定の期日までに提出しなければならない。

(利用の承認)

第5条 センター長は前条の申請を承認したときは、利用番号及びパスワードを付して、担当大学教員に通知する。

2 前項の承認の有効期限は、授業終了までとする。

(申請事項の変更)

第6条 前条の規定により承認された担当大学教員は、申請書の記載事項に変更が生じた場合には、速やかにセンター長に届け出なければならない。

(利用番号の転用の禁止)

第7条 担当大学教員及び利用を承認された学生（以下「受講生」という。）は、その利用番号を他の目的に使用し、又は第三者に使用させてはならない。

(パスワードの管理)

第8条 担当大学教員及び受講生は、パスワードについて他者に知られてはならない。

2 担当大学教員は、通知されたパスワードを変更することができる。

(指導責任)

第9条 利用に関する受講生の指導責任は、担当大学教員が負う。

2 担当大学教員は、前条に定める受講生のパスワードの管理を行い、受講生からの問合せ等に
応じる責を負う。

(利用の方法)

第10条 機器の利用は、担当大学教員の指導のもとに受講生自身が行うものとする。

2 機器の利用に際しての詳細は、マニュアル及び利用の手引きその他説明書に基づくものとし、
利用者に配布されるものを除きセンター長の許可なくセンターから持ち出してはならない。

3 その他センターの利用に際しては、センターで定める利用の手引き等を遵守しなければならない。

(利用場所)

第11条 機器を使用できる場所は、教育端末室においてのみとする。

(利用承認の取消し及び処分)

第12条 担当大学教員又は受講生が、この細則若しくはこの細則に基づく定めに違反し、又は
センターの運営に重大な支障をもたらした場合には、センター長は、利用の承認を取消し、又は
一定期間センターの利用を停止させることができる。また、特に悪質とセンター長が認めた場合
には、利用者の身分に関する処分について、その権限を有する意思決定機構(教授会等)に対し、
当該行為の報告及び処分の勧告を行う。

(雑則)

第13条 この細則に定めるもののほか、センターの利用に関し必要な事項は、センター長が別
に定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

三重大学総合情報処理センター広報 Vol. 12

平成 26 年 8 月発行

編集人 三重大学総合情報処理センター

井須尚紀、杉浦徳宏、堀川慎一、三橋一郎、伊藤篤、松原伸樹、伊藤舞

発行所 三重大学総合情報処理センター

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

TEL (059)231-9645

FAX (059)231-9646